

令和4年度
事業概要

社会福祉法人かながわ共同会
厚木精華園

目次

はじめに（園長挨拶）

I 園事業報告	1
1 園概況	1
(1) 沿革	1
(2) 事業内容	1
(3) 利用者概況	1
2 組織図・職員配置状況	2
3 会議・委員会等体制	3
4 運営実績	5
5 決算報告	6
6 年間事業取組結果	7
7 会議・委員会等取組結果	9
8 各課年度重点目標及び取組結果	11
9 人権・権利擁護	14
(1) 取組内容及び取組結果	14
(2) 苦情・要望報告	14
(3) 人権・権利擁護目標・効果	15
10 危機管理・安全対策	16
(1) 取組内容	16
(2) 事故防止等対策	16
(3) ひやりはつと報告	16
(4) 事故報告	16
(5) 防災・防犯訓練実施報告	17
11 職場研修実績	18
(1) 園内研修	18
(2) 外部研修	19
12 ボランティア活動受入実績	20
(1) 行事	20
(2) 日常	20
13 実習生・研修生等受入実績	21
II 各課事業報告	22
1 総務課	22
2 栄養調理課	23
3 相談研修課	25
4 生活課	28
5 日中支援課	31
6 看護課	33
7 厚木身体障害者等生活介護事業所	38
8 地域生活支援課	39
9 相談支援事業所	40
III 家族会活動報告	41
IV 後援会活動報告	42

はじめに

園長 長谷川 正己

令和4年度事業概要を取りまとめましたので、ご高覧いただければ幸いです。

令和4年度は、指定管理による施設運営の第二ステージの7年目となり、更なる「支援・介護・看護」による統合的なケア等の充実を目指しましたが、今年度も新型コロナウイルス感染症にかかる感染対策のため、事業等の中止・縮小等による実績報告となっております。

当園のサービス利用者は、年度末現在で施設入所支援実人員89名、延32,305名・生活介護実人員116名、延27,577名・共同生活援助実人員29名、延10,338名となりました。また、1年間の新規契約者は3名、うち施設入所3名・生活介護3名となり、退所者は7名、うち死亡4名・療養型病院転院3名で、平均年齢は67・1歳となっております。

利用者の高齢化や重度化に寄り添う支援の充実のため、コロナ禍でも工夫し、オンラインを活用した面会や、感染防止対策をとった上での行事や日中活動を実施しました。

高齢者支援セミナーは、「高齢知的障害者の基本を学び、支援の質の向上を目指す」をテーマに企画し、オンライン研修で8回開催し、高齢の知的障害者支援のノウハウの発信に取組みました。

地域連携では、例年開催している荻野地区協定施設連絡会議への出席や、地域ニーズに対応した応急手当普及員派遣や近隣の厚木市立荻野小学校3年生と利用者との交流会も今年度もコロナ禍のため開催中止とし、地域連携にも引続き取組むこととしました。

在宅の障害者支援の一環として、短期入所延572名の受入れや厚木身体障害者等生活介護事業では、年間263日開所・延3,043名を受入れ、サービス等利用計画策定等の相談支援事業での相談支援利用延4,172件の受理や厚木市の障害支援区分認定調査等にも取組みました。

最後に、令和5年度も引き続き、新型コロナウイルス感染症の基本的な感染対策を継続し、「コロナ禍前の日常に戻し、充実した生活」を目指し、意思決定支援・日中活動の充実等、当事者目線の支援の実践に努めてまいりますので、今後ともご理解・ご協力をお願い申し上げます。

社会福祉法人かながわ共同会基本理念

社会福祉法人かながわ共同会は、誠実と信頼を旨とし、人権に根ざした利用者本位の考え方に立ち、多様なニーズに対応する支援体制の整備、サービスの量的、質的充実につとめ、利用者と地域社会の繁栄に貢献するとともに社会的な法人としての価値を創造していきます。

I 園事業報告

1 園概況

(1) 沿革

平成 6年	7月	神奈川県立厚木精華園として開設 定員:一般入所118名、短期入所2名 対象:中高齢で医療的ケアの必要な知的障害者 運営主体:社会福祉法人かながわ共同会
平成 7年	4月	厚木市障害者デイサービス(重心)事業受託、運営開始
平成 9年	6月	厚木精華園ゆめホーム事業(グループホーム)開設、運営開始
平成 18年	4月	地方自治法の規定により、厚木精華園を指定管理者として神奈川県が社会福祉法人かながわ共同会を指定
平成 20年	4月	新サービス事業体系へ移行(施設入所支援110名、短期入所2名、生活介護140名)
平成 21年	4月	厚木市身体障害者生活介護事業所受託、運営開始
平成 23年	2月	第三者評価受審(株式会社コモンズ21)
平成 23年	4月	厚木身体障害者等生活介護事業所を自主事業として運営開始
平成 26年	1月	厚木精華園相談支援事業所「ここから」開設
平成 27年	10月	厚木市障害者相談支援センター事業受託開始
平成 28年	4月	地方自治法の規定により、厚木精華園を指定管理者として神奈川県が社会福祉法人かながわ共同会を指定
令和 元年	9月	当園創立25周年記念講演会及びコンサートを開催
令和 2年	4月	地域生活支援課、並び相談支援事業所「ここから」を事務所移転
令和 4年	4月	障害児相談支援事業運営開始

(2) 事業内容

(名)		(名)		
県指定管理事業		法人自主事業		
事業名	定員	事業所名	事業名	定員
施設入所支援	110	厚木精華園ゆめホーム	共同生活援助	30
生活介護	140	厚木身体障害者等生活介護事業所	生活介護	20
短期入所	2	厚木精華園相談支援事業所	特定・障害児	-

(3) 利用者概況

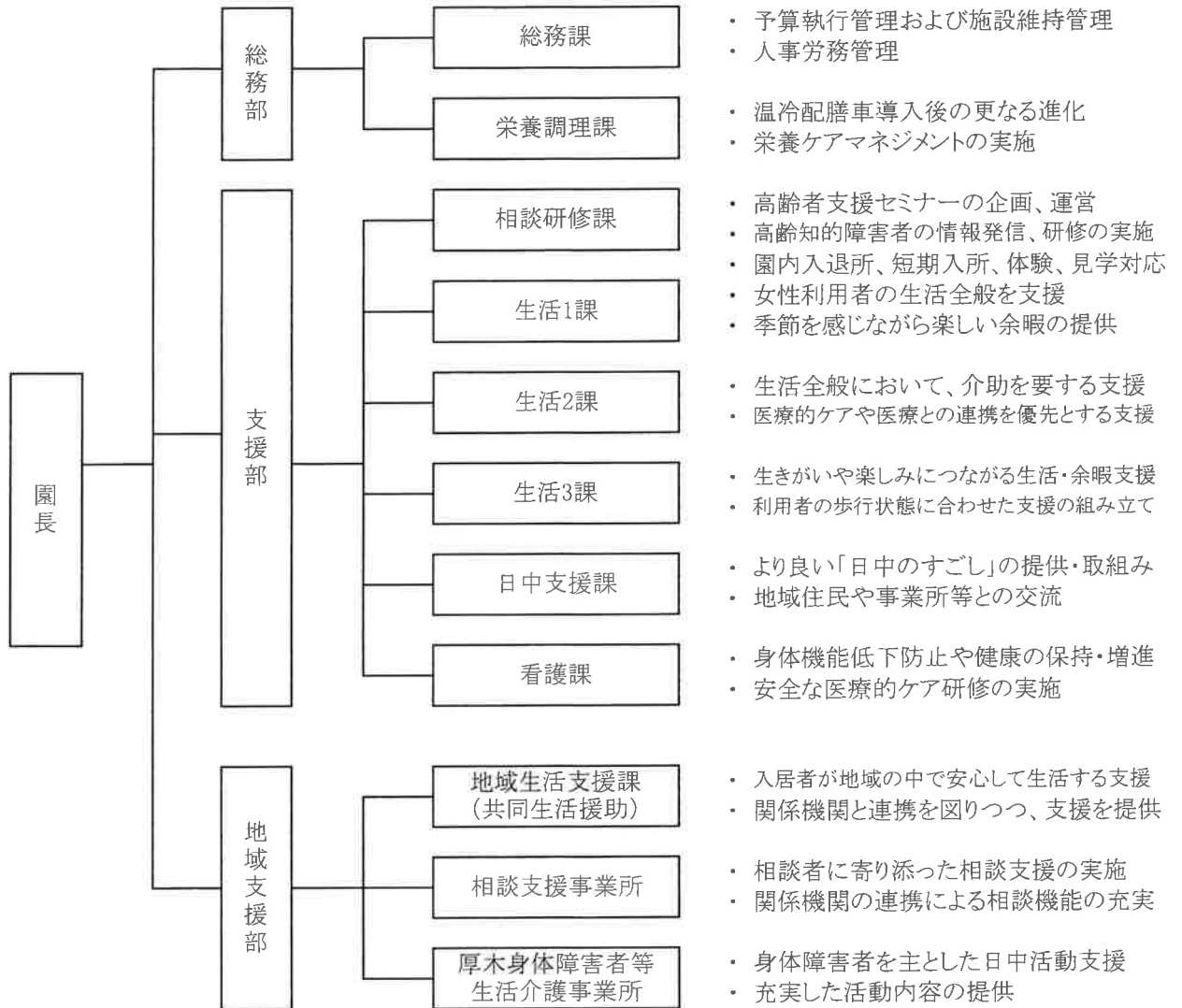
7 年齢

内 訳	(歳)		
	平均年齢	最年少	最年長
施設入所支援	67・1	43・1	92・11
生活介護	65・0	30・10	92・11
共同生活援助	67・5	38・4	89・4

イ 障害支援区分

障害支援区分	(名)					
	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1
施設入所支援	53	24	12	0	0	0
生活介護	63	32	19	2	0	0
共同生活援助	2	10	12	4	1	0
合計	118	66	43	6	1	0

2 組織図



令和5年3月31日現在

		常勤	臨任	非常勤	計
園長		1			1
総務部	総務部長	1			1
	総務課	3		1	4
	栄養調理課	4	1	9	14
支援部	支援部長	1			1
	相談研修課	1			1
	生活1課	15	5		20
	生活2課	21	1		22
	生活3課	17		1	18
	看護課	4	1	3	8
	日中支援課	5	1	5	11
	地域支援部長	1			1
地域支援部	地域生活支援課	4		34	38
	相談支援事業	3			3
	厚木身体障害者等生活介護	5		4	9
	合計	86	9	57	152

3 会議・委員会等体制

会議等名	協議・検討内容	構成員
運営会議	<ul style="list-style-type: none"> ・園運営上の重要課題及び重点事項 ・園長の特命事項 ・その他必要事項 	園長 各部長 各課長
経営会議	<ul style="list-style-type: none"> ・園の経営に関する事項 ・予算に関する事項 ・決算に関する事項 ・その他必要な事項 	園長 各部長 各課長 総務課員
主任会議	<ul style="list-style-type: none"> ・各課間の調整に関する事項 ・運営会議の特命事項 ・中期計画の進行管理に関する事項 ・その他必要な事項 	各課主任 担当課長
全体職員会議	<ul style="list-style-type: none"> ・園運営上の重要課題に関して職員全体の意見交換及び園内外の情報伝達に関する事項 ・その他必要な事項 	全職員
グループ会議	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者支援及び個別支援計画に関する事項 ・栄養ケアマネジメントに関する事項 ・その他必要な事項 	課員 必要に応じ主任
課リーダー会議	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者支援に関する事項 ・グループ間の調整に関する事項 ・その他必要な事項 	サービス管理責任者 課長 主任 グループリーダー
課会議	<ul style="list-style-type: none"> ・課運営の主要課題及び重要事項 ・課長の特命事項 ・諸会議報告 ・課全体の意見交換及び情報伝達 ・利用者支援(及び個別支援計画)に関する事項 ・その他必要な事項 	サービス管理責任者 担当課長 主任 課員
モニタリング会議	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画に関する事項 	利用者本人・家族・後見人 相談支援専門員 サービス管理責任者 課員
サービス利用調整会議	<ul style="list-style-type: none"> ・入所希望者の許諾・受入れに関する事項 ・退所希望者に関する事項 ・利用者サービス調整に関する事項 ・地域生活移行・定着に関する事項 ・相談支援に関する事項 ・その他必要な事項 	園長 各部長 各課長 ケースワーカー
行事担当者会議	<ul style="list-style-type: none"> ・園内行事(夏まつり/長寿の祝い/ラ・フェスタ等)に関する事項 ・その他園内行事に関する事項 ・その他必要な事項 	担当部課長
衛生委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・労働安全衛生法第18条に基づき職員の健康障害を防止するための基本対策に関する事項 ・交通安全に関する事項 ・その他必要事項 	衛生管理者 産業医 園長委嘱職員 労務委員職員
人権委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の人権擁護に関する事項 ・第三者による点検活動の推進に関する事項 ・苦情解決に関する事項 ・その他必要な事項 	担当課員 担当課長

虐待防止委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止のための体制作りに関する事項 ・虐待防止のチェックとモニタリングに関する事項 ・虐待発生後の対応と総括 ・その他必要な事項 	園長 各部長 各課長 (管理者・サービス管理責任者)
行動制限判定会議	<ul style="list-style-type: none"> ・行動制限に頼らない支援体制づくりに関する事項 ・行動制限の実施及び解除に関する事項 ・行動制限のチェックとモニタリングに関する事項 ・その他必要な事項 	園長 各部長 各課長 (管理者・サービス管理責任者)
利用者自治会委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者自治会のサポートに関する事項 ・その他必要な事項 	担当課員 担当課長
危機管理委員会 (リスクマネジメント)	<ul style="list-style-type: none"> ・リスクマネジメントに関する事項 ・利用者の安全確保に関する事項 ・その他必要な事項 	担当課員 担当課長
危機管理委員会 (防犯・防災)	<ul style="list-style-type: none"> ・防災に関する事項 ・災害対策に関する事項 ・防犯に関する事項 ・環境整備に関する事項 ・法人危機管理委員会との連携に関する事項 ・その他必要な事項 	担当課員 担当課長
研修委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・園内研修や派遣研修等の企画実施に関する事項 ・高齢者支援セミナーの事務局運営に関する事項 ・法人研修委員会との連携に関する事項 ・その他必要な事項 	担当課長 担当課員
食事委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の食事に関する事項 ・食事に関する利用者支援全般に関する事項 ・その他必要な事項 	担当課員 担当課長 栄養士
医療安全委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・喀痰吸引等の実施について医療関係者との連携の下で安全確保体制を整備し、常時適切な喀痰吸引業務実施の推進に関する事項 ・その他必要な事項 	医師 園長 支援部長 看護課長 担当課員
健康委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の健康管理に関する事項 ・その他必要な事項 	担当課員 担当課長
広報・情報ネットワーク委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・厚木精華園の広報に関する事項 ・広報誌ベルデカーレ発行に関する事項 ・パンフレットの発行に関する事項 ・情報ネットワークの運営管理に関する事項 ・法人情報ネットワーク委員会との連携 ・ホームページの運用に関する事項 ・パソコン運用に関する事項 ・その他必要な事項 	総務部長 担当課員
夏まつり委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・夏祭りの企画運営に関する事項 	担当課員 担当課長
長寿の祝い委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・長寿の祝いの企画運営に関する事項 	担当課員 担当課長
ラ・フェスタ委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・ラフェスタの企画運営に関する事項 	担当課員 担当課長
プロジェクトA	<ul style="list-style-type: none"> ・生活課運営体制の安定・充実にに関する事項 ・ハード面修繕箇所や課題整理に関する事項 	担当課員 担当課長
プロジェクトB	<ul style="list-style-type: none"> ・日中サービス支援型グループホームに関する事項 	担当課員 担当課長

4 運営実績

1 指定管理事業

(1) 実績

(名)

			上半期実績	下半期実績	年間実績
障害者支援施設	施設入所支援	定員	110	110	110
		延べ人数	18,084	14,221	32,305
	生活介護	定員	140	140	140
		延べ人数	15,194	12,383	27,577
短期入所		定員	2	2	2
		延べ人数	143	429	572
		稼働率	39%	118%	78%

※短期入所は空床型の実施を含む

(2) 障害支援区分

(名)

	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
施設入所	0	0	0	12	24	53	89
生活介護	0	0	2	19	32	63	116

2 法人直営事業

(1) グループホーム入居者 (6ヶ所)

(名)

区分	入居者数	平均年齢	1人あたり平均			日中活動			入所前		
			居室面積(畳)	利用料(食費含月額)	収入(年金含月額)	園内通所	園外通所	就労	自施設	在宅	その他
男	14	61・5	6	63,916	91,730	7	11	0	6	6	3
女	15	73・3	6	64,397	81,485	10	6	0	5	4	5
計	29	67・7	6	64,164	86,599	17	17	0	11	10	8

※重複者あり

(2) 厚木身体障害者等生活介護事業所

(名)

生活介護	年度	R3年度	R4年度
	定員	20	20
	延べ人数	3,057	3,043

(3) サービス等利用計画作成

(件)

	R3年度	R4年度	厚木市	清川村	座間市	秦野市	他市町村
件数	363	422	344	0	6	18	54

3 その他

(1) 障がい者雇用

(名)

区分		R3年度	R4年度
障害者雇用	男	3	5
	女	1	0
	計	4	5

(2) 実習生受入

(名)

区分	R3年度	R4年度
実人数	0	5

(3) ボランティア受入

(名)

区分	R3年度	R4年度
延べ人数	87	93

(4) 見学者受入

(名)

区分	R3年度	R4年度
延べ人数	0	0

(5) 養護学校実習生受入

(名)

区分	R3年度	R4年度
延べ人数	0	0

貸借対照表内訳表
令和5年3月31日現在

勘定科目	厚木精華園拠点	厚木地区拠点	合計
流動資産	303,814,179	70,462,068	374,276,247
現金預金	196,750,879	23,015,001	219,765,880
事業未収金	90,083,876	33,797,937	123,881,813
未収補助金	421,691	5,708,600	6,130,291
給食用材料	1,337,059		1,337,059
立替金	3,162,894		3,162,894
前払費用	506,207	1,318,030	1,824,237
拠点区分間貸付金	11,352,573	1,622,500	12,975,073
サービス区分間貸付金		5,000,000	5,000,000
仮払金	199,000		199,000
固定資産	198,124,498	53,489,268	251,613,766
その他の固定資産	198,124,498	53,489,268	251,613,766
建物	3,023,192	10,894,937	13,918,129
構築物	1,241,296		1,241,296
機械及び装置	49,823		49,823
車輛運搬具	10	4,441,161	4,441,171
器具及び備品	2,402,414	2,137,470	4,539,884
有形リース資産	2,029,536	758,400	2,787,936
ソフトウェア	256,027		256,027
退職給付引当資産	92,007,200	24,615,700	116,622,900
修繕積立資産	6,000,000		6,000,000
備品等購入積立資産	91,115,000	11,400,000	102,515,000
資産の部合計	501,938,677	123,951,336	625,890,013
流動負債	83,917,179	30,262,427	114,179,606
事業未払金	24,919,485	10,078,124	34,997,609
1年以内返済予定リース債務	676,512	63,200	739,712
未払費用	14,041,917	3,166,936	17,208,853
職員預り金	4,787,112		4,787,112
拠点区分間借入金	15,891,181	6,558,443	22,449,624
サービス区分間借入金		5,000,000	5,000,000
賞与引当金	23,600,972	5,395,724	28,996,696
固定負債	93,416,600	24,615,700	118,032,300
リース債務	1,409,400		1,409,400
退職給付引当金	92,007,200	24,615,700	116,622,900
負債の部合計	177,333,779	54,878,127	232,211,906
国庫補助金等特別積立金	730,756	12,732,625	13,463,381
国庫補助金等特別積立金	730,756	12,732,625	13,463,381
その他の積立金	97,115,000	11,400,000	108,515,000
修繕積立金	6,000,000		6,000,000
備品等購入積立金	91,115,000	11,400,000	102,515,000
次期繰越活動増減差額	226,759,142	44,940,584	271,699,726
次期繰越活動増減差額	226,759,142	44,940,584	271,699,726
(うち当期活動増減差額)	△37,010,539	6,505,712	△30,504,827
純資産の部合計	324,604,898	69,073,209	393,678,107
負債及び純資産の部合計	501,938,677	123,951,336	625,890,013

【厚木精華園 拠点区分】

- ・ 施設入所
- ・ 短期入所
- ・ 生活介護
- ・ 診療所

【厚木地区 拠点区分】

- ・ 共同生活援助
- ・ 厚木身体障害者等生活介護
- ・ 相談支援

資金収支内訳表

(自) 令和4年4月1日 (至) 令和5年3月31日

勘定科目	厚木精華園拠点	厚木地区拠点	合計
事業活動による収支			
収入			
障害福祉サービス等事業収入	745,136,995	220,762,782	965,899,777
医療事業収入	29,833,254		29,833,254
経常経費寄附金収入	690,000		690,000
受取利息配当金収入	5		5
その他の収入	12,434,321	654,320	13,088,641
事業活動収入計(1)	788,094,575	221,417,102	1,009,511,677
支出			
人件費支出	576,051,006	160,603,709	736,654,715
事業費支出	112,982,495	21,070,000	134,052,495
事務費支出	104,048,011	28,163,088	132,211,099
その他の支出	4,691,058	0	4,691,058
事業活動支出計(2)	797,772,570	209,836,797	1,007,609,367
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△9,677,995	11,580,305	1,902,310
収入			
施設整備等補助金収入		3,666,500	3,666,500
施設整備等収入計(4)	0	3,666,500	3,666,500
支出			
固定資産取得支出		4,992,150	4,992,150
ファイナンス・リース債務の返済支出	676,512	758,400	1,434,912
施設整備等支出計(5)	676,512	5,750,550	6,427,062
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△676,512	△2,084,050	△2,760,562
収入			
積立資産取崩収入	9,243,230		9,243,230
その他の活動収入計(7)	9,243,230	0	9,243,230
支出			
積立資産支出	7,467,200	1,616,400	9,083,600
拠点区分間繰入金支出	25,000,000		25,000,000
その他の活動支出計(8)	660,640		660,640
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△23,884,610	△1,616,400	△25,501,010
当期資金収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9)	△34,239,117	7,879,855	△26,359,262
前期末支払資金残高(11)	277,076,542	37,778,710	314,855,252
当期末支払資金残高(10)+(11)	242,837,425	45,658,565	288,495,990

事業活動内訳表

(自) 令和4年4月1日 (至) 令和5年3月31日

勘定科目	厚木精華園拠点	厚木地区拠点	合計
サービス活動増減の部			
収益			
障害福祉サービス等事業収益	745,136,995	220,762,782	965,899,777
医療事業収益	29,038,321		29,038,321
経常経費寄附金収益	690,000		690,000
その他の収益	5,069,430		5,069,430
サービス活動収益計(1)	779,934,749	220,762,782	1,000,697,531
費用			
人件費	575,373,009	163,186,880	738,559,889
事業費	112,458,626	21,070,000	133,528,626
事務費	103,842,011	28,163,088	131,995,099
減価償却費	2,554,799	5,587,271	8,142,070
国庫補助金等特別積立金取崩額	△259,959	△3,095,849	△3,355,808
サービス活動費用計(2)	793,958,486	214,911,390	1,008,869,876
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△14,023,737	5,851,392	△8,172,345
収益			
受取利息配当金収益	5		5
その他のサービス活動外収益	7,364,891	654,320	8,019,211
サービス活動外収益計(4)	7,364,896	654,320	8,019,216
費用			
その他のサービス活動外費用	4,691,058		4,691,058
サービス活動外費用計(5)	4,691,058	0	4,691,058
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	2,673,838	654,320	3,328,158
経常増減差額(7)=(3)+(6)	△11,349,899	6,505,712	△4,844,187
特別増減の部			
収益			
施設整備等補助金収益		3,666,500	3,666,500
特別収益計(8)	0	3,666,500	3,666,500
費用			
国庫補助金等特別積立金積立額		3,666,500	3,666,500
拠点区分間繰入金費用	25,000,000		25,000,000
その他の特別損失	660,640		660,640
特別費用計(9)	25,660,640	3,666,500	29,327,140
特別増減差額(10)=(8)-(9)	△25,660,640	0	△25,660,640
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	△37,010,539	6,505,712	△30,504,827
前期繰越活動増減差額(12)	263,769,681	38,434,872	302,204,553
当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	226,759,142	44,940,584	271,699,726
基本金取崩額(14)	0	0	0
その他の積立金取崩額(15)	0	0	0
その他の積立金積立額(16)	0	0	0
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)+(16)	226,759,142	44,940,584	271,699,726

6 年間事業取組結果

4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月	
1日(木)	各課行事日・GH開所日	1日(火)	各課行事日・GH開所日	1日(木)	各課行事日・GH開所日	1日(木)	各課行事日・GH開所日	1日(金)	各課行事日・GH開所日	1日(木)	各課行事日・GH開所日
2日(金)	新採用・異動職員研修① 対面式防火装置説明	2日(木)	新採用・異動職員研修① 対面式防火装置説明	2日(水)	新採用・異動職員研修① 対面式防火装置説明	2日(金)	利用者自治会委員会 特別研修(中・監)	2日(月)	新採用・異動職員研修②	2日(木)	健康・医療安全委員会
3日(土)	新採用・異動職員研修② PM虐待防止・運営会議	3日(金)	新採用・異動職員研修② PM虐待防止・運営会議	3日(木)	新採用・異動職員研修② PM虐待防止・運営会議	3日(土)	PM虐待防止・運営会議	3日(火)	PM虐待防止・運営会議	3日(金)	PM虐待防止・運営会議
4日(日)	休	4日(土)	休	4日(金)	休	4日(日)	休	4日(木)	休	4日(日)	休
5日(月)	休	5日(日)	休	5日(土)	休	5日(月)	休	5日(金)	休	5日(月)	休
6日(火)	防災訓練・危機管理委員会	6日(木)	防災訓練・危機管理委員会	6日(水)	防災訓練・危機管理委員会	6日(金)	防災訓練・危機管理委員会	6日(月)	防災訓練・危機管理委員会	6日(木)	防災訓練・危機管理委員会
7日(水)	行事担当会議AM 人権委員会	7日(金)	行事担当会議AM 人権委員会	7日(木)	行事担当会議AM 人権委員会	7日(土)	行事担当会議AM 人権委員会	7日(火)	行事担当会議AM 人権委員会	7日(金)	行事担当会議AM 人権委員会
8日(木)	健康・医療安全委員会	8日(土)	健康・医療安全委員会	8日(金)	健康・医療安全委員会	8日(日)	健康・医療安全委員会	8日(木)	健康・医療安全委員会	8日(日)	健康・医療安全委員会
9日(金)	広報情報ネットワーク委員会	9日(木)	広報情報ネットワーク委員会	9日(水)	広報情報ネットワーク委員会	9日(金)	広報情報ネットワーク委員会	9日(月)	広報情報ネットワーク委員会	9日(木)	広報情報ネットワーク委員会
10日(土)	利用者自治会	10日(金)	利用者自治会	10日(木)	利用者自治会	10日(土)	利用者自治会	10日(火)	利用者自治会	10日(金)	利用者自治会
11日(日)	休	11日(土)	休	11日(金)	休	11日(日)	休	11日(木)	休	11日(日)	休
12日(月)	ノーマルワーク/食事委員会	12日(日)	ノーマルワーク/食事委員会	12日(土)	ノーマルワーク/食事委員会	12日(月)	ノーマルワーク/食事委員会	12日(金)	ノーマルワーク/食事委員会	12日(木)	ノーマルワーク/食事委員会
13日(火)	ノーマルワーク/サービス利用調整 PM虐待防止・運営会議	13日(木)	ノーマルワーク/サービス利用調整 PM虐待防止・運営会議	13日(水)	ノーマルワーク/サービス利用調整 PM虐待防止・運営会議	13日(金)	ノーマルワーク/サービス利用調整 PM虐待防止・運営会議	13日(月)	ノーマルワーク/サービス利用調整 PM虐待防止・運営会議	13日(木)	ノーマルワーク/サービス利用調整 PM虐待防止・運営会議
14日(水)	職員健康診断①・食事委員会	14日(金)	職員健康診断①・食事委員会	14日(木)	職員健康診断①・食事委員会	14日(土)	職員健康診断①・食事委員会	14日(火)	職員健康診断①・食事委員会	14日(金)	職員健康診断①・食事委員会
15日(木)	主任会議	15日(土)	主任会議	15日(金)	主任会議	15日(日)	主任会議	15日(木)	主任会議	15日(日)	主任会議
16日(金)	プロジェクトA 2024年格差対人者詳細研修	16日(木)	プロジェクトA 2024年格差対人者詳細研修	16日(水)	プロジェクトA 2024年格差対人者詳細研修	16日(金)	プロジェクトA 2024年格差対人者詳細研修	16日(月)	プロジェクトA 2024年格差対人者詳細研修	16日(木)	プロジェクトA 2024年格差対人者詳細研修
17日(土)	家族会役員会 GH開所日	17日(金)	家族会役員会 GH開所日	17日(木)	家族会役員会 GH開所日	17日(土)	家族会役員会 GH開所日	17日(火)	家族会役員会 GH開所日	17日(金)	家族会役員会 GH開所日
18日(日)	休	18日(土)	休	18日(金)	休	18日(日)	休	18日(木)	休	18日(日)	休
19日(月)	休	19日(日)	休	19日(土)	休	19日(月)	休	19日(金)	休	19日(月)	休
20日(火)	根菜おはなし 衛生委員	20日(木)	根菜おはなし 衛生委員	20日(水)	根菜おはなし 衛生委員	20日(金)	根菜おはなし 衛生委員	20日(月)	根菜おはなし 衛生委員	20日(木)	根菜おはなし 衛生委員
21日(水)	全体職員会議・生活課会議	21日(金)	全体職員会議・生活課会議	21日(木)	全体職員会議・生活課会議	21日(土)	全体職員会議・生活課会議	21日(火)	全体職員会議・生活課会議	21日(金)	全体職員会議・生活課会議
22日(木)	環境美化・日中支援課会議	22日(土)	環境美化・日中支援課会議	22日(金)	環境美化・日中支援課会議	22日(日)	環境美化・日中支援課会議	22日(木)	環境美化・日中支援課会議	22日(日)	環境美化・日中支援課会議
23日(金)	法援会役員会PM 3級昇格会対人者詳細研修	23日(木)	法援会役員会PM 3級昇格会対人者詳細研修	23日(水)	法援会役員会PM 3級昇格会対人者詳細研修	23日(金)	法援会役員会PM 3級昇格会対人者詳細研修	23日(月)	法援会役員会PM 3級昇格会対人者詳細研修	23日(木)	法援会役員会PM 3級昇格会対人者詳細研修
24日(土)	非常勤研修①AM 防災訓練・危機管理委員会	24日(金)	非常勤研修①AM 防災訓練・危機管理委員会	24日(木)	非常勤研修①AM 防災訓練・危機管理委員会	24日(土)	非常勤研修①AM 防災訓練・危機管理委員会	24日(火)	非常勤研修①AM 防災訓練・危機管理委員会	24日(金)	非常勤研修①AM 防災訓練・危機管理委員会
25日(日)	休	25日(土)	休	25日(金)	休	25日(日)	休	25日(木)	休	25日(日)	休
26日(月)	休	26日(日)	休	26日(土)	休	26日(月)	休	26日(金)	休	26日(月)	休
27日(火)	行動制限判定会議 運営会議	27日(木)	行動制限判定会議 運営会議	27日(水)	行動制限判定会議 運営会議	27日(金)	行動制限判定会議 運営会議	27日(月)	行動制限判定会議 運営会議	27日(木)	行動制限判定会議 運営会議
28日(水)	非常勤研修② 展開別研修(中・監)	28日(金)	非常勤研修② 展開別研修(中・監)	28日(木)	非常勤研修② 展開別研修(中・監)	28日(土)	非常勤研修② 展開別研修(中・監)	28日(火)	非常勤研修② 展開別研修(中・監)	28日(金)	非常勤研修② 展開別研修(中・監)
29日(木)	各国行事日	29日(土)	各国行事日	29日(金)	各国行事日	29日(日)	各国行事日	29日(木)	各国行事日	29日(日)	各国行事日
30日(金)	休	30日(木)	休	30日(水)	休	30日(金)	休	30日(月)	休	30日(木)	休
31日(土)	休	31日(金)	休	31日(木)	休	31日(土)	休	31日(火)	休	31日(金)	休

10月		11月		12月		1月		2月		3月	
1日(金)	総合研修	1日(月)	ラ・フェスタ委員会反省会	1日(水)		1日(木)	退社	1日(火)		1日(火)	内示
2日(土)		2日(火)		2日(木)		2日(金)		2日(水)		2日(木)	
3日(日)		3日(水)	2化の日	3日(金)		3日(土)		3日(木)		3日(木)	
4日(月)	ラ・フェスタ委員会④ 新追加職員研修(9月11日付)	4日(木)	健康・医療安全委員会	4日(土)	各課行事日	4日(日)		4日(火)	社務始め 総合研修 ノー残業ウィーク	4日(金)	利用者自治会委員会
5日(火)		5日(金)	利用者自治会委員会	5日(日)		5日(月)		5日(水)			
6日(水)				6日(月)	ノー残業ウィーク	6日(火)		6日(木)			
7日(木)		7日(日)		7日(火)	ノー残業デイ・サービス利用 PM虐待防止・運営会議	7日(水)		7日(金)	各課断年会 利用者自治会委員会	7日(月)	ノー残業ウィーク
8日(金)	休日準備	8日(月)	ノー残業ウィーク	8日(水)		8日(木)		8日(土)	各課行事日・GH開所日	8日(火)	ノー残業デイ・サービス利用 PM虐待防止・運営会議
9日(土)	ラ・フェスタ、第三者委員	9日(火)	PM虐待防止・運営会議	9日(木)	プロジェクトA	9日(金)		9日(水)		9日(木)	衛生委員会
10日(日)		10日(水)		10日(金)		10日(土)		10日(木)		10日(木)	プロジェクトB 喫茶おはなし
11日(月)	ノー残業ウィーク	11日(木)	喫茶プティ 衛生委員会	11日(土)	GH開所日 とまどクリスマス会	11日(日)		11日(火)	衛生委員会 PM虐待防止・運営会議	11日(月)	
12日(火)	ノー残業デイ・サービス利用 PM虐待防止・運営会議	12日(金)	プロジェクトB	12日(日)		12日(月)		12日(水)	健康医療安全委員会 プロジェクトA	12日(火)	家族会・GH開所日
13日(水)			家族会・GH開所日	13日(月)		13日(火)		13日(木)	衛生委員会	13日(水)	
14日(木)	食事委員会			14日(火)	環境美化・日中支援課会議	14日(水)		14日(金)	広範情報ネットワーク委員会 座席研究!	14日(月)	
15日(金)	人権委員会	15日(月)		15日(水)		15日(木)		15日(土)	各課利用者自治会・GH開所日 家族会	15日(火)	非常勤契約日AM(生活課) ボランティア懇話会
		16日(火)	普通救命講習②	16日(木)		16日(金)		16日(水)		16日(木)	食事委員会
		17日(水)	高齢研究員会 高齢者支援セミナー	17日(金)	食事委員会 喫茶おはなし	17日(土)		17日(木)		17日(木)	食事委員会
18日(月)	主任会議	18日(木)		18日(土)	各課行事日・GH開所日	18日(日)		18日(火)		18日(金)	各課春の宴・広範情報ネット 委員会研修会
19日(火)	地域交流レクリエーションDAY 衛生委員会	19日(金)	食事委員会	19日(日)		19日(月)		19日(水)			利用者自治会
20日(水)	生活課会議/職員研修① 特別研修・全体職員会議			20日(月)	防災訓練・危機管理委員会	20日(火)		20日(木)		20日(木)	
21日(木)	環境美化・日中支援課会議	21日(日)		21日(火)	行事担当委員会②AM 生活課会議	21日(水)		21日(金)	防災訓練・危機管理委員会	21日(土)	自分の日
22日(金)	プロジェクトA 喫茶おはなし	22日(月)	職員研修② 職員会議・生活課会議	22日(水)	ノー残業デイ 行動制限判定会議・運営会議	22日(木)		22日(土)	各課行事日	22日(火)	ノー残業デイ経営会議(AM) 行動制限判定会議・運営会議
23日(土)	利用者自治会・GH開所日	23日(火)		23日(木)		23日(金)		23日(水)		23日(木)	職員会議生活課会議・環境美化
24日(日)		24日(水)		24日(金)	各課クリスマス会	24日(土)		24日(木)	環境美化・日中支援課会議	24日(火)	日中支援課会議(非常勤契約)
25日(月)		25日(木)	環境美化・日中支援課会議	25日(土)		25日(日)		25日(火)	生活課会議・全課緊急時対応訓練 特別研修・職員会議生活課会議	25日(金)	防災訓練・危機管理委員会
26日(火)	ノー残業デイ 行動制限判定会議・運営会議	26日(金)	防災訓練・危機管理委員会 利用者自治会・GH開所日	26日(日)		26日(月)		26日(水)		26日(木)	
27日(水)				27日(火)		27日(水)		27日(金)		27日(土)	
28日(木)		28日(日)		28日(火)	社務始め	28日(水)		28日(金)	運営会議・行動制限判定会議 地区別運営協議会	28日(月)	
29日(金)	新採・異動フォローアップ研修②	29日(月)	ノー残業デイ・AM経営会議 行動制限判定会議・運営会議	29日(水)		29日(木)		29日(土)	おながわ共同会人権フォーラム 各課行事日	29日(火)	
30日(土)		30日(火)		30日(木)		30日(金)				30日(木)	
31日(日)				31日(火)		31日(水)		31日(金)		31日(土)	

7 会議・委員会等取組結果

会議等名	取組内容／結果	備考
運営会議	<ul style="list-style-type: none"> ・園運営上の課題を管理職で月2回検討した。 ・法人諸会議、各課、各委員会報告を行い必要事項を確認した。 	
経営会議	<ul style="list-style-type: none"> ・予算並びに施設維持管理、加算状況を共有化し、効率的な予算執行に努めた。 ・年間3回会議を開催した。 	
主任会議	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者実積のマニュアル作成 ・意思決定支援、記録の書き方、個別支援計画への反映について確認・検討した。 ・感染症の振り返り 	
全体職員会議	<ul style="list-style-type: none"> ・職員全体への周知、連絡事項を確認した。 ・園長からの職員に対しての伝達をした。 	
グループ会議	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者個々の支援について確認、検討をした。 ・個別支援計画、身体拘束の確認、検討をした。 ・栄養ケアマネジメントに関して確認、検討をした。 	
課リーダー会議	<ul style="list-style-type: none"> ・各課、課長、主任、グループリーダーで課運営に関する事項やグループ会議での連絡事項等を確認した。 	
課会議	<ul style="list-style-type: none"> ・課運営に関して確認、検討をした。 ・利用者支援に関して確認、検討をした。 	
モニタリング会議	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画実施状況報告、利用者本人の希望確認を関係者で共有・確認した。 	
サービス利用調整会議	<ul style="list-style-type: none"> ・新規入所・短期入所・体験入所・見学希望者の受入れについて確認、検討をした。 ・利用者のサービスに関して、確認、検討をした。 	
行事担当者会議	<ul style="list-style-type: none"> ・年度当初に園内行事に関して確認・検討をした。 ・感染症対策、予防にて全行事の規模を縮小し、外部等の参加を見合わせ、園の利用者・職員のみで実施した。 ・年度内予定行事終了後、振り返り、次年度に向け意見交換を実施した。 	
衛生委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・労働環境、健康に関して、確認、検討をした。 ・交通安全に関する研修、腰痛予防に関する研修、メンタルヘルス研修を開催をした。 ・感染症に関する情報交換を行った。 	
虐待防止委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・各課虐待防止の対策、支援の振り返りを報告をした。 ・虐待防止について情報共有を行い防止に努めた。 	
行動制限判定会議	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年10月に身体拘束実施者は0となったが、緊急事案等がないか、毎回確認した。 ・身体拘束に頼らない支援体制づくりを検討した。 	

人権委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・人権目標を2ヶ月間設定、実施し、振り返りを実施した。 ・人権自己チェック、利用者・ご家族満足度調査を実施した。 ・人権に関する研修を実施した。 	
利用者自治会委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月、各課で利用者自治会を実施した。 ・利用者自治会主催の園行事を開催した。 	
危機管理委員会 (リスクマネジメント・ 防犯・防災)	<ul style="list-style-type: none"> ・事故報告、ひやりはっとの分析をし防止策の共有に努めた。 ・環境整備、危険個所の点検を実施した。 ・毎月、避難訓練を実施した。 ・防災・防犯に関する環境整備、備品の管理をした。 	
研修委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・園内研修を企画、実施した。 ・高齢者支援セミナーの企画、運営を実施した。 ・法人研修委員会と連携した取り組みを実施した。 	
食事委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の食事に関して、確認、検討をした。 ・栄養ケアマネジメントの実施。 ・食事提供、マナー等に関して、確認、検討した。 	
医療安全委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・喀痰吸引等の研修は制度に基づいて実施した。 ・園内での手技の見直しを実施し、医療ひやりはっど報告を確認、検討した。 	
健康委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・年間計画に沿って利用者の健康目標に取り組みの確認、検討した。 ・利用者緊急時対応訓練を全課協力して取り組んだ。法人内体験交流セミナーで今までの取組結果を発表し、法人内での情報共有を図った。 ・感染症の研修を企画・実施した。また、新型コロナ感染症もあり標準予防対策及びノロ発生時の対応訓練も行った。 	
広報・情報ネットワーク委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・広報誌ベルデカーレの発行を実施した。 ・パンフレットの一部修正を行った。 ・情報ネットワークに関して、確認、検討した。 ・パソコン環境確認を実施した。 ・毎月、ホームページを更新した。 	
夏まつり委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・夏まつりの企画、運営を行った。 	
長寿の祝い委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・長寿の祝いの企画、運営を行った。 	
ラ・フェスタ委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・ラ・フェスタの企画、運営を行ない、家族との交流が図れる行事を実施した。 	
プロジェクトA	<ul style="list-style-type: none"> ・介護や支援の状況に合わせ、先を見据えて男性利用者の寮編成を検討した。 ・ハード面での工夫については各課の課題整理や修繕箇所の確認を行い転倒時の対応として、緩衝材の設置に向けて検討・確認を行った。 	
プロジェクトB	<ul style="list-style-type: none"> ・日中サービス支援型グループホームについて計画・検討した。 	

8 各課年度重点目標／取組結果

課名	年度重点目標／取組結果
総務課	<p>・指定管理施設として柔軟な運用に努め、利用者が安心・安全に暮らせるように施設並びに設備の効率的な維持管理を行います。</p> <p>⇒経営会議を年3回開催し、各課の意見聴取、調整を行い、計画的に備品更新、改修等に取り組めました。また、業務委託内容の精査を行い老朽化の進む施設の維持管理に適切に対応すると共に、神奈川県による計画修繕や緊急対応工事への積極的な取組みを行い、効果的に改修工事を実施することができました。</p> <p>・障害者総合支援法に基づく園の運営にあたり、関係機関等との調整を図るなど、事務の円滑な推進を図ります。</p> <p>⇒県、各市町村との連絡、調整を随時実施し、運営に支障のないよう対応することができました。併せて、ガバナンスの強化として会計監査人による会計監査を受け適正かつ円滑で効率的な事務を行うことができました。</p> <p>・障害福祉サービス等報酬における加算取得の対応に努めます。</p> <p>⇒支援現場からの確実かつ適切な実績を受けられるよう、報告方法の見直しを行い、請求誤りや漏れの発生がないような事務処理体制づくりに努め、効率化を図りました。</p> <p>・感染症対策に取組み、園内環境の充実に努めます。</p> <p>⇒新型コロナウイルス感染症への予防、拡大防止対策について、県、医療機関、法人間での情報収集を行い適切に対処した他、補助金の活用を行い、環境改善への取組み、備品・物品の整備等、適切に対応することができました。</p>
栄養調理課	<p>・高齢者への優しい食事『口どけ食』の更なる改善と献立、調理方法の改善に努めます。</p> <p>⇒献立に合わせて新しいゲル材を使用し今まで以上に利用者が食べやすくなるように努力しました。</p> <p>・温冷配膳車導入後の振り返りと更なる進化に努めます。</p> <p>⇒乾燥を防ぐ為に蓋をしたり、配膳時間を調整してより良い状態で食べて頂ける様努力しました。</p> <p>・栄養ケアマネジメント実施で個々の利用者に適した食事提供に努めます。</p> <p>⇒食事委員会の中で、定期的リスクを判定、確認し栄養状態の改善の為、多職種で情報を共有し利用者に適した食事を提供しました。</p> <p>・感染症(コロナ)発症時に適した食事を提供します。</p> <p>⇒感染拡大を防ぐためお弁当で対応しました。</p>
相談研修課	<p>・高齢知的障害者についての情報発信に繋げるため、高齢者支援セミナーの研修企画、立案により高齢知的障害者支援のノウハウの普及と啓発に努めます。</p> <p>⇒新型コロナウイルス感染対策のため、すべてオンライン研修で年8回開催し、高齢知的障害者支援について情報発信に努めました。</p> <p>・将来の福祉の担い手として、社会福祉士養成実習をはじめとした福祉教育実習を受入、福祉人材の育成に努めます。あわせて質の向上を目指します。</p> <p>⇒各種養成校から保育実習5名・社会福祉士実習1名を調整・受け入れました。</p> <p>・高齢知的障害者の支援と介護技術向上のための研修を企画し、高齢知的障害者に特化したサービスの質の向上を目指します。また生活の質の向上を目的に社会資源の活用をします。</p> <p>⇒職員向けに外部のZoom研修やサポーターズカレッジの情報や案内を発信しました。また園内研修では新採用者や異動職員を中心に研修を企画し高齢知的障害者に特化した支援について学ぶ機会を企画しました。</p> <p>・施設利用窓口として多様なニーズを抱えた利用者の相談に応え、在宅支援の充実や体験機会の提供に努めます。</p> <p>⇒施設等からのサービス利用に関する移行支援の相談等ニーズや状況を伺い、適切な調整に務めるとともに、在宅やグループホーム、他施設の方の短期入所・体験入所・見学ニーズに対し、希望に添えるよう調整に努めました。短期・体験の受け入れの延べ人数は前年度より2.4倍となりました。</p> <p>・個人及び各種団体等の見学を積極的に受入、高齢知的障害者の支援や障害福祉への理解に繋がります。</p> <p>⇒新型コロナウイルス感染拡大防止のため、外部からの施設見学は受け入れられませんでした。</p>

<p>生活1課</p>	<p>・利用者一人一人が安心、安全に暮らせる環境整備に努めます。 ⇒コロナウイルス感染予防に努めて、環境整備を重点に取り組みました。寮単位で過ごし、サロン中心の生活空間の見直しをおこない、環境整備に努めました。</p> <p>・ひやりはっと報告や事故報告の検証をもとに支援の振り返りを行い職員の意識向上に努めます。 ⇒課会議の中で報告の内容を確認し意見交換することで繰り返さないことの意識付けを行いました。サロンを中心として見守りをしっかりおこない、転倒防止に努めました。</p> <p>・個々のニーズに合わせた楽しみ方を工夫して提供します。 ⇒寮内の装飾で季節を感じ、園内散歩で日常の笑顔を写真に残しました。個々の要望に合わせた外出は感染予防のためできませんでしたが、七夕、クリスマス、新年会など季節に合わせた行事を企画・提供しました。外食の機会が少ないので 出前やテイクアウトを利用しました。買い物については、出張ファミリーマート販売、冊子(写真)を見ながら好みのものを選択する通販を活用しました。</p> <p>・日々の変化や気づきを記録に残し、的確な情報伝達ができるよう知識を身につけます。 ⇒日々の様子から判断し、本人により適した施設への移行の時期を看護課との連携により、ご家族に説明・了解を得て、療養型病院1名の移行を行いました。</p>
<p>生活2課</p>	<p>・支援の見直しを定期的に行い、虐待防止や人権擁護、意識決定支援について意識の向上や理解を深めます。 ⇒グループ会議や課会議等にて適宜見直し、確認等実施しました。虐待防止や人権擁護、意思決定支援についても会議の場を中心に意見交換や体験を通して、意識を高めました。</p> <p>・高齢利用者が安心・安全な暮らしができるよう見守りカメラ等の環境整備に取り組み、危険予知力を高め、事故防止に努めます。 ⇒見守りカメラ等の環境整備を行いました。画像検証等を通して危険箇所を確認・改善し、事故の再発防止に努めました。</p> <p>・感染症予防を図りながら可能な範囲で余暇の充実を図る。個々の楽しみやニーズをアセスメントします。 ⇒感染症予防を図りながら、少人数でのドライブや散歩、外出・出前等実施しました。また、個々の楽しみに繋がるよう、ニーズのアセスメントを行いました。</p> <p>・感染症予防の知識習得、感染予防策の履行を通して、確実な感染予防に努めます。 ⇒感染症予防の知識習得や予防策の履行により、利用者が感染症に罹患することはありませんでした。</p> <p>・利用者個々の既往歴の把握や情報収集や情報整理によって、疾病の早期発見や医療機関との連携に努めます。 ⇒利用者個々の既往歴や情報整理を行い、課内で周知・確認を行いました。体調不良者が確認された際は、迅速に対応しつつ、看護課に報告し、医療機関と連携を取って体調管理に努めました。</p>
<p>生活3課</p>	<p>・利用者の意思やニーズを尊重し、記録や個別支援・モニタリングを元に支援を展開していきます。 ⇒個別支援計画に沿った記録の記載や月の振り返りを毎月のグループ会議や課会議で行いました。意思決定支援で「事前・事中・事後」による記録を残す事で個別のニーズを職員間で共有できるよう努めました。</p> <p>タブレットにて商品の画像を提示し、その中から選んで頂く場面をつくり、選択肢が広がる場面を作りました。</p> <p>・高齢化する利用者の状態把握(歩行状態含む)と健康上のニーズに応じた支援の充実に努めます。 ⇒バイタルチェックや食事状況を記録する事で関係機関との連携や職員間で健康状態を把握できるよう努めました。個々の歩行状態に合わせて介助や環境設定を行いました。</p> <p>・利用者目線の支援を中心に、虐待防止・人権擁護に努めます。 ⇒朝の会や毎月開催されるひまわり会を通して利用者へ情報をお伝えしたり、意見集約等を行いました。毎月のグループ会議や課会議にて人権目標を活用しながら、虐待防止・人権擁護に関しての振り返りを行いました。</p> <p>・感染症予防に配慮しながら「生きがい」や「楽しみ」を感じられる場の提供に努めます。 ⇒利用者個々に希望を取り、近隣の寿司店やレストラン等の出前を実施し、当日の楽しみに繋げました。園外周や園庭等密にならない環境を選んで散歩や日光浴、ラジオ体操等を実施しました。</p> <p>・主に転倒リスクの情報共有と記録分析に注力し、必要に応じて即応しつつ予防に努めます。 ⇒居室の配置換えや緩衝材を使用する等ハード面を強化し、転倒の対策・予防策を行いました。個別にマッサージ業者と契約したり、PTとの連携で拘縮の予防軽減に努めました。</p>

日中支援課	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症予防に努めながら「日中のすごし」について活動や余暇等、園全体を意識して取り組みます。 ⇒感染症対策として、利用者の集団化から個別化にシフトを変え、個々の障がい特性に合わせた活動を心掛け対応しました。感染症対策の効果もあり、1年間休業せず稼働しました。 ・地域との関わりを意識し、地域住民・近隣の事業所等との交流・貢献を図ります。 ⇒感染症予防にて行事が行われず、参画・交流することはできませんでした。 ・課体制の改善及び職員の人権意識の向上・支援のスキルアップを目指します。 ⇒毎日の夕礼にて支援確認を行ない、専門知識・技術、人権・権利擁護の徹底、チームとしてスキルアップを図りました。
看護課	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりが充実した日常生活が送れるよう各セクションと連携し健康状態の把握を行います。 ⇒定期健診や診療所内外での臨時受診を行い利用者の健康管理に努めましたがノロウイルスによる感染拡大があり、その都度、医師や保健所に確認を行い感染対策に努めました。 ・褥瘡や骨折等防止のため職員に助言を行いながら介護技術の向上に努めます。 ⇒皮膚の観察、体位変換、除圧の方法等情報を共有し改善に努めました。 ・安全な医療的ケア研修実施が行えるよう感染予防や事故防止のため清潔な環境・手洗い等の普及に努めます。 ⇒年間計画に沿って手技の見直し・手洗い・座学の振り返りなど行い職員一人ひとりが振り返り確認することに取り組みました。また基礎研修からの受講職員については、生活課と調整を研修申請・実施しました。 ・協力医療機関との連携を基本に近隣病院との連携に努めます。 ⇒病状や利用者の特性によって医療機関を受診しました。
地域生活支援課	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者の地域生活を支える体制作りをしていきます。 ⇒コロナ禍で地域の行事が減りましたが、自治会役員と情報共有を積極的に図りました。 ・入居者本位の支援を推進していきます。 ⇒成年後見人選任1名。 ・支援者のスキルアップをしていきます。 ⇒緊急時対応訓練を実施しました。世話人研修では虐待防止及び感染症対策を実施しました。 ・安定経営を目指します。 ⇒入居者の充足(満床化)に取り組んだ結果、令和5年スタート時点満床となりました。
相談支援事業所	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者本位の「寄り添う」相談支援をしていきます。 ⇒傾聴を基本とし、様々な角度からの分析に努め、より良い支援に繋げました。 ・相談支援専門員の資質向上を目指します。 ⇒地域移行・地域定着専門別研修、意思決定支援研修を受講しました。 ・他職種・他事業所との協働をしていきます。 ⇒地域包括支援センター、各市町村はじめ他事業所との情報共有に努めました。
厚木身体障害者等生活介護事業所	<ul style="list-style-type: none"> ・各サービス機関と連携し、養護学校卒業生の医療的ケアの方を受け入れます ⇒医療的ケア対象者1名。医療的ケアの登録を継続しました。 ・コロナ感染防止に配慮しながら、障がい特性に応じた多様な過ごし方を提供します。 ⇒利用者からの意見を汲み取りながら、ipadやクロームキャスト等を導入し、レクリエーション活動を強化しました。 ・より多くの在宅者の方にサービスを利用して頂くため、積極的に利用者を受け入れます。 ⇒1年間で新規の利用者が2名増えました。退所者は2名でした。

9 人権・権利擁護

(1) 取組内容

ア 人権委員会

(ア) 目的

権利擁護に関する諸活動を行なうことにより、利用者固有の尊厳を尊重することを目的とします。

(イ) 内容・結果

- ・2か月ごとに 人権・権利擁護目標を設定し周知徹底の後、振り返り及び効果の検証をした。
- ・第三者委員との面談を企画し、利用者からの要望を汲み取れるよう努めた。
- ・ご家族含め満足度調査を実施し、集計及び精査をし、開示及び支援に活かすようにした。
- ・人権意識向上につながるよう、委員会主催の人権擁護研修を開催した。
- ・利用者満足度調査を実施し、利用者の意見や要望を確認し支援の向上へ繋げた。
- ・人権チェックリストを各自実施し人権擁護、虐待防止に努めた。

イ 虐待防止委員会

(ア) 目的

虐待防止に係る体制作り、チェックとモニタリング、虐待(不適切な対応事例)発生後の対応及び再発防止を図ることを目的とします。

(イ) 内容・結果

- ・各課、課会議にて虐待防止の振り返りを議論し取組みを虐待防止委員会に報告し虐待防止、意識の向上に努めた。
- ・虐待が疑われる事案が発生した際は臨時で委員会を開催し、迅速な通報や事実確認へ繋げた。

ウ 利用者自治会委員会

(ア) 目的

会員相互の親睦融和を図りながら、生活をより豊かなものへとする為に、様々な行事を企画します。また、会員の要望に基づき園に対して意見具申等を行うことを目的とします。

(イ) 内容・結果

- ・各課自治会(ひまわり会)を月に1回開催し、利用者からの意見を多くみ取れるように配慮した。
- ・役員を中心に園内行事の役割(司会等)を担ってもらい、利用者が主役の行事になった。
- ・自治会を通じ、利用者からのニーズに応じ、訪問販売(衣類)やコンサートを実現した。

エ 行動制限判定会議

(ア) 目的

行動制限の実施及び解除に関する事項を組織として協議・検討し、行動制限に頼らない支援体制作りを目指し、利用者の生活の質の向上を目的とします。

(イ) 内容・結果

- ・行動制限の実施及び解除に関する事項を毎月協議・検討した。令和3年度ゼロとなった以降は緊急事案の検討を継続した。
- ・行動制限に頼らない支援体制作りを目指し、情報交換や再アセスメント等を実施した。

(2) 苦情・要望報告

		苦情・要望内容区分					合計
		職員接遇	サービス内容	施設・整備	被害・損害	その他	
申 出 人	利用者本人						
	家族	1					1
	その他						
	計	1					1

内容の概要

- ・短期入所終了時の家族への報告不足。

(3) 人権・権利擁護目標・効果

	月間目標	効果
4月	「挨拶や呼称、言葉遣いは毎日丁寧に出来ていますか？」	<ul style="list-style-type: none"> ・声が大きいと、驚かれたり、威圧的に聞こえてしまうので、注意するよう心掛けた。 ・丁寧に分かりやすい言葉遣いを心掛け、利用者と話す際は目線をしっかりと合わせるよう意識した。 ・挨拶だけでなく、もう一言、二言話したことで利用者とのコミュニケーションを深めることができた。
5月		
6月	「利用者さんのプライバシーは守れていますか？」	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の情報（排泄関連等）を引き継ぐ際、利用者の前では行わないよう、場所を変えて行った。 ・書類については、鍵のかかる所に保管し、席から離れる際は、伏せたり、出したままにはせず、パソコンの画面も消してから席を外すよう努めた。 ・トイレ誘導時も他の利用者にわからないよう、声掛けを工夫した。
7月		
8月	「利用者さんの気持ちに沿った支援は出来ていますか？」	<ul style="list-style-type: none"> ・なかなか言葉が出ない利用者に対しては、少し待ち、気持ちを確認した。また、表情や反応をしっかりと見ることに努めた。 ・気持ちに沿うためには、傾聴だと思われる。言葉の裏にある本当の気持ちを考える必要があると感じている。 ・言葉で伝えられる利用者の気持ち、意思は聞いているが、本当に利用者の気持ちに沿えているかわからない。
9月		
10月	「意思表示のサポートはできていますか？ 意思確認の工夫等」	<ul style="list-style-type: none"> ・写真やカード、タブレットを用いて意思の確認を行った。 ・目線や表情等で意思を汲み取るよう配慮した。 ・選択肢を提示するなど工夫した。 ・何がしたいのか、どうしたいのか意思表示がされるまで待った。 ・利用者に決定してもらえない場面はないか振り返り、可能な範囲で実践した。
11月		
12月	「自分で決めることをサポート出来ていますか？ 情報提供・選択肢の提供等」	<ul style="list-style-type: none"> ・本人の好みなのか、長年の習慣なのか生活のパターンが決まりきっている様に感じる。生活パターンを尊重しながら、少しずつ情報提供していくことが大切ではないかと感じている。 ・新しいこと、経験したことがないことも1つの選択肢として取り入れて支援していきたい。 ・選択肢の中に、「嫌だ」と言える選択肢があってもいいかと思われた。
1月		
2月	「決定した事柄を実際に取り組みましたか？ その時の反応はどうでしたか」	<ul style="list-style-type: none"> ・散歩したいとの要望が聞かれ、散歩を行うと「気持ちいいね」と伝えてくれた。 ・おいしいラーメン屋のカップラーメンを購入して提供したら、すぐに完食していた。 ・自分で選択し決定したことを行ったら、満足した様子であった。 ・自分で決めたことを行ったことで、次の意欲に繋げることができた。
3月		

10 危機管理・安全対策

(1) 取組内容

ア リスクマネジメント委員会

(ア) 目的

利用者支援、施設整備面における事故防止対策の確立。事故発生時の対応及び利用者の人権尊重の立場に立ったサービスの質の向上に向けたシステム構築を図ることを目的とします。

(イ) 内容・結果

- ・危険予知訓練「ひやりはっと報告」レベル2以上について予防策を考えました。
- ・「事故報告」のデータ分析を行い再発防止に向け話し合いました。
- ・各課において、生活環境の整備、改善に努めることで事故防止対策の確立に努めました。

イ 防災委員会

(ア) 目的

職員に対して防火、防災意識を徹底させて、指導や管理を行う。また、防災訓練・研修を通じて、園内の構造及び避難施設に関すること等、必要な事項について取組むことを目的とします。

(イ) 内容・結果

- ・毎月1回、火災・地震等、さらに昼間や夜間を想定した防災訓練を実施しました。
- ・土砂災害危険区域に入っていることもあり 災害を想定した避難訓練を行いました。
- ・災害発生時に備えた必要な防火備品および非常食材の入れ替え、炊き出し訓練を行いました。
- ・法人総合防災防犯訓練へ参画しました。

(2) 事故防止等対策

- ・防犯対策マニュアルの周知啓発および不審者侵入緊急初動マニュアルを各課に掲示しました。
- ・利用者支援における設備面の改善(緩衝材の設置等)を図りました。
- ・防犯機器類の設置・整備を行いました。
- ・防犯機器類の使用に関する研修者や不審者侵入に対する防犯訓練を実施しました。

(2) ひやりはっと報告

令和4年度年間件数

報告数	負傷	服薬	誤嚥	誤飲食	物品破損	物品紛失	所在不明	医療	その他
328	131	48	27	6	7	21	11	18	59

(3) 事故報告

(件)

報告数	怪我	誤与薬	誤飲食	誤嚥	所在不明	医療処置	物品破損	病気入院・死亡	その他
92	36	26	0	1	0	5	0	16	8

(5) 防災・防犯訓練実施報告

実施日	訓練内容	担当
4月4日	新採用・転入職員への防火防犯装置・消防設備等の説明	総務課
4月5日	通報訓練(園内(模擬)通報・放送)、避難訓練(各課)	生活3課
5月30日	通報訓練(園内(模擬)通報・放送)、夜間想定避難訓練	生活2課
6月14日	通報訓練(消防署通報、園内放送)、避難訓練	生活1課
7月25日	防犯防災訓練、 通報訓練(園内(模擬)通報・放送)、避難訓練	日中支援課
8月29日	通報訓練(園内(模擬)通報)、避難訓練(浸水害・土砂災害)	生活1課
9月1日	シェイクアウト訓練、消防設備等の説明 法人防災防犯訓練①	日中支援課・総務課
9月21日	非常食炊き出し訓練	栄養調理課
10月21日	通報訓練(園内(模擬)通報・放送)、 避難訓練 放水訓練 防火・消防設備等の説明・ 確認	生活3課・総務課
11月25日	通報訓練(園内(模擬)通報)、避難訓練 法人防災防犯訓練②	生活2課
12月16日	通報訓練(園内(模擬)通報)、夜間想定避難訓練	生活1課
1月20日	通報訓練(消防署通報、消防署、園内放送)、避難 訓練	日中支援課
2月17日	通報訓練(園内(模擬)通報)、避難訓練	生活3課
3月3日	グループホーム避難訓練	地域生活支援課
3月17日	グループホーム避難訓練	地域生活支援課

*アルソック安否確認メールは毎月実施

11 職場研修実績

(1) 園内研修

(名)

研修名	開催日	参加人数	備考
新採用・異動職員研修	4月4日	12	
新採用・異動職員フォローアップ研修	6月30日	11	
非常勤研修(人権擁護)	R5年2月～3月	10	
安全運転講習	4月20日	30	
研究援助事業プレ発表(生活2課)	5月24日	26	
虐待防止研修	8回/年	116(全員受講)	
人権擁護と意思決定支援	10月25日	29	
普通救命講習(7月・11月)	7月14日 11月15日	36	
腰痛予防研修	11月22日	20	
メンタルヘルス研修	1月25日	26	
感染症研修	10月15日	15	
法人内交換研修	9月29日	1	
県コンサルテーション事業意思決定支援の実践に向けて	1月23日	20	
オープンセミナー「当事者・支援者の思いのズレを埋めるために～その人らしく生きる幸せな暮らしとは～」	10月14日	7	
合計		339	

(2) 外部研修

(名)

研修名	開催日	参加人数	備考
神奈川県社会福祉協議会新任職員研修会	8月1日、10日、13日	1	
精神障がい者支援の障害特性と支援方法	8月24日、25日	1	
福祉サービス第三者評価に関する事業者説明会	9月9日	1	
喀痰吸引等医療的ケア研修(第3特定研修)	①5月8日・14日 ②9月4日・17日	2	
介護支援ロボット・見守り支援ロボットの実演	9月12日	2	
障害者支援施設等における感染症に関するBCPの策定等に係る研修会	9月28日 2月9日	4	
県立障害支援施設職員階層別研修	2月20日 3月7日	2	
主任相談支援専門員	10月19・20日 11月9～11日	1	
意思決定支援ガイドライン研修	9月20日・10月25日 11月15日・12月6日 ・1月17日	5	
意思決定支援専門(基礎)研修	10月21日・11月4日 12月7日・1月10日 2月7日	1	
意思決定支援チームに対する研修	3月20・23日	10	
強行研修(基礎研修・実践研修)	5月15.22.29日 3月3.27日	2	
強行研修(基礎研修)	11月29・30日	1	
強行研修(実践研修)	5月22・29日 3月3・27日	2	
厚木市障がい児・者実務者研修	10月17日	4	
民間施設派遣研修	11月に各自3日間	2	
法人後見を知る～後見の担い手を広げよう～	12月5日	1	
応急手当普及員再講習会	12月10日	3	
神奈川県高齢者福祉施設等感染予防スタッフ育成研修	1月10日	3	
触法障害者の支援の現場から	2月15日	1	
知的障がいのある方への生活支援	11月15日	1	
車いす利用者の車両乗車時の安全に関するフォーラム	10月30日	1	
在宅医療・介護の連携推進に係る研修会	1月19・20日	1	
神奈川県サービス管理責任者更新研修	6月30日・7月7日・7月21日・8月3日・8月4日 10月6日・11月9日	7	
障害者虐待防止マネージャー研修会	1月27日	13	
合計		72	

12 ボランティア活動受入実績

(1) 行事

名称	内容	活動日	件数
ふれあいフェスティバル	模擬店補助	中止	
地域交流レクDAY	利用者交流	中止	
喫茶プティ	飲食提供補助	5月27日	1
デザートテラス	飲食提供補助	6月23日	1
夏まつり2022	模擬店補助等	7月5日	1
喫茶プティ	飲食提供補助	8月19日	1
デザートテラス	飲食提供補助	中止	
ラ・フェスタ	利用者支援補助、調理補助等	10月8日	1
地域交流レクDAY	利用者交流	中止	
喫茶プティ	飲食提供補助	11月10日	1
デザートテラス	飲食提供補助	1月17日	1
喫茶プティ	飲食提供補助	2月9日	1
ボランティア懇談会	懇談・昼食会	中止	

※実施した行事については、感染症対策・予防においてボランティアの受け入れは行なわずに、規模を縮小するなどして園の利用者・職員のみで実施しました。

(2) 日常

内容	活動日	(件) (名)	
		件数	人数
日中活動支援 ・活動支援、作業補助	随時	0	0
余暇活動 ・喫茶おはなし	年5回 うち3回は中止	2	2
余暇活動 ・ファミリーマート売店	月1回程度	2	0
日中活動支援 ・清掃	随時	0	0
余暇活動 ・ガイドヘルパー外出	随時	0	0

※園として緊急事態宣言等発令期間外にて対応可能と判断した時、各課毎に実施しました。

13 実習生・研修生等受入実績

4月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
5月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
6月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	
		保育)聖ヶ丘学園(11日間)2名 6/6-6/20																													
7月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
8月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
		保育)学研アカデミー(12日間)1名 8/8-8/24																													
9月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	
		日本福祉大(24日間)1名 9/12-10/18																													
10月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
		日本福祉大(24日間)1名 9/12-10/18																													
11月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	
12月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
2月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28			
	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火			
		保育)湘北短期大学(10日間)2名 2/20-3-6																													
3月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金

II 各課事業報告

1 総務課

社会福祉法人制度改革におけるガバナンスの強化として会計監査人が設けられたことから、公認会計士による会計監査を受け、適正かつ効率的な会計処理に努めました。

経営会議を年 3 回開催し利用者の安心・安全で豊かな暮らしを支えるために、コロナ禍の中ではありましたが、備品更新並びに修繕計画を検討し計画的かつ柔軟な予算執行に取り組みました。また、新型コロナウイルス感染症への感染予防、感染時の拡大防止対策については、補助金の活用を行う等により必要な内容を適切に実施しました。

神奈川県指定管理者施設としての県計画・緊急修繕への対応、法人としての施設・設備の不具合箇所の修繕も積極的に対応するとともに、施設内外の環境整備にも注力し対応いたしました。

相談支援事業所においては、補助金を活用して防災用品の整備を行い、福祉避難所として災害発生時の受入れ体制の整備を増進いたしました。

更には、令和 5 年 4 月から受託する厚木市睦合地区相談支援事業所の整備について、地域支援部との連携を密にし迅速に対応いたしました。

備品更新並びに主な修繕内容は以下のとおりです。

備品【指定管理施設】	備品【自主事業】
居住棟 2 階 ガス乾燥機	非常用発電機（相談支援事業所）
厨房 フードプロセッサ	ポータブル蓄電池（相談支援事業所）
居住棟 2 階 休憩室エアコン	
厨房 ミキサー	

修繕【法人施工】※抜粋	修繕【県施工】
管理棟 1 階 デイルームドア修繕	管理棟 1 階ファンコイルユニット他空調機更新工事
温冷配膳車 冷却ユニット交換修理	管理棟 3・地下 1 階及び体育館ファンコイルユニット他空調機更新(実施設計)
受水槽定水位弁交換修繕	管理棟 3 階活動室空調機ドレンパン修繕工事
居住棟 1 階 談話室 空調機修繕	管理棟、居住棟屋上防水工事
居住棟 1 階 移乗リフト修理	管理棟 1 階、居住棟 1 階見守りカメラ設置工事
管理棟 1 階 シャワー交換修繕	
体育館電灯盤改修工事	
管理棟 2 階 機械浴修理	
管理棟地階 冷蔵庫等修繕	
管理棟地階 湧水槽ポンプ修繕	

2 栄養調理課

『スパイス愛で調理』

厚木精華園の食事は利用者に寄り添った『安全』『安心』そして、『感動』をお届けしてまいりました。

(1) 温冷配膳車での提供

冬は温かい食事提供の実現、夏は冷たいデザート。食欲をそそる爽やかな冷やし中華等の提供で利用者へのサービス向上を図りました。

(2) 栄養ケアマネジメントの実施

平成 29 年 4 月から多職種と連携し情報を共有することで利用者の健康状態の維持、増進、QOL ノ 向上の為に、栄養ケアマネジメントに取り組みました。

(3) 食事形態の改善と調理方法の工夫

高齢で嚥下機能が低下していく利用者に寄り添った食事は安全を第一に味、見た目の美しさを考慮して調理しています。

食事形態の特徴

ア 「口どけ食」喉をスルーと落ちていく嚥下困難な利用者に安心、安全な食事として当園には欠かせない嚥下食です。

イ 「トロミ食」は口腔内でばらけないように硬すぎず柔らかすぎない調理法です。

ウ 「口どけ食」は普通食の形態をさらに食べやすくカットをしました。

エ 「普通食」でも利用者さんには合わせた調理方法です。食べやすい大きさにカットします。煮物などは舌でつぶせる硬さです。

(4) 医療対応食の実施

糖尿病、脂質異常症、高血圧、腎臓病、低残差、塩分制限等の医療食を医師の指示により実施しました。

(5) 食事形態別食数 厚木精華園の入所者のみ

普通食 1800Kcal～1600Kcal 27名・カット食24名・トロミ食5名・口どけ食4名
制限食 1400Kcal～1000Kcal 4名・カット食12名・トロミ食10名・口どけ食8名

(6) 嗜好による個人対応の実施で食事への不満を解消しました。

嫌いな食べ物、食べづらい物は利用者ご本人からのご希望に沿った食事の提供を実施しています。

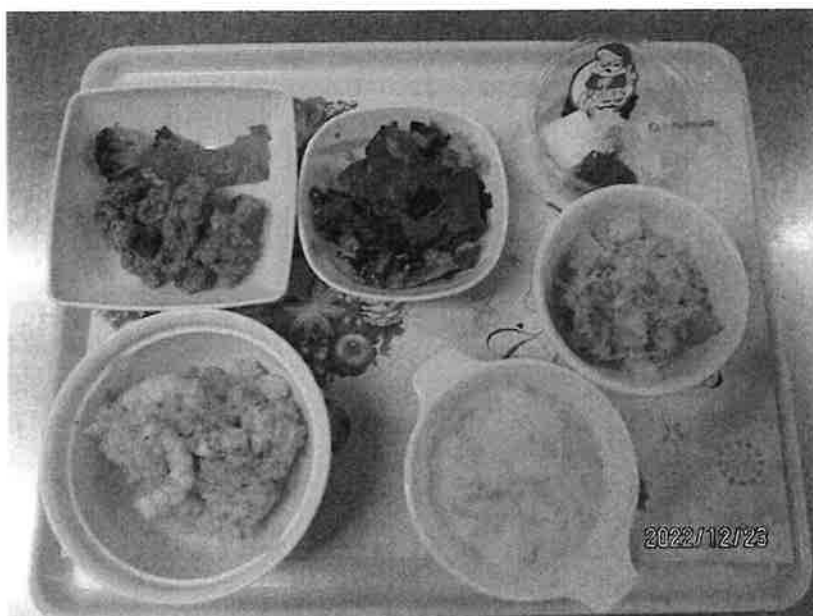
(7) 利用者『喫茶プティ招待』

令和4年度はコロナ禍の為、利用者を招待することは出来ませんでした。

代わりに、各課利用者全員を対象に課ごとに、おやつを提供を実施しました。

(8) 『行事食』と『季節食事』の実施

- 9月 『長寿の祝い』高齢者施設ならではの行事、皆さんが食べやすいように調理された食事でお祝いをしました。
- 9月 『秋分の日』おはぎ3種を昼食で提供しました。「口どけのおはぎ」も大好評でした。
- 10月 ラ・フェスタにてコロナ禍の為、利用者の希望を盛り込んだお弁当を提供。
- 12月 厚木精華園クリスマスパーティー『クリスマススペシャル料理』でクリスマスを楽しみました。
- 12月31日 年越しの天婦羅そばを提供しました。
- 令和5年 元旦 朝食は、お節料理で新年を迎えました。
昼食はお刺身豪華盛り合わせ、お赤飯、伊達巻、数の子の紅白なます、お吸い物を提供しました。
- 1月6日 昼食 七草粥を提供しました。
- 1月 各課新年会 お刺身、天ぷらとお正月料理でお祝いをしました。
- 1月 鏡開きでお汁粉を提供し、「口どけ食のお汁粉」を提供大好評でした。
- 3月 春分の日 昼食はおはぎ3種を昼食。「口どけ食のおはぎ」も提供しました。
- 3月 「春の宴」にて豪華お弁当を提供



クリスマススペシャル料理

季節ごとの日本の食文化を提供しました。

3 相談研修課

相談研修課は、研修に関する主な業務として「高齢者支援セミナー」の企画、運営をはじめ、園内研修の実施や職員派遣研修に関することを行い人材育成が図れるよう取り組みました。また相談に関する業務として、多様なニーズを抱えた利用者の相談業務、見学・体験・短期利用相談等、施設利用に関する相談をはじめ、移行支援の調整など様々な業務を行いました。他、各種実習生等の受入の調整を行いました。

(1) 高齢者支援セミナー

高齢者の支援に関するセミナーとして厚木精華園が主催し、オンライン形式で年8回開催しました。令和4年度は「高齢知的障害者支援の基本を学び、支援の質の向上を目指す」をテーマに実施しました。

	日程	テーマ	講師	参加人数
1	5月11日	おむつのあて方	リブドゥコーポレーション 樋口氏・新谷氏	16事業所
2	6月15日	高齢研合同セミナー 「レクリエーションについて」	公益財団法人 日本レクリエーション協会 事業専門職 津幡氏	19事業所
3	7月13日	摂食嚥下について	稲城台病院 院長補佐 食支援センター長 芳村 直美 氏	20事業所
4	9月14日	高齢知的障害者の新たな日中活動プログラムの開発 ～転倒減少を目指して～	かながわ共同会 研究活動チーム	19事業所
5	10月12日	口腔ケアについて	厚木市歯科医師会 歯科衛生士 打矢 純子氏	6事業所
6	11月16日	高齢研合同セミナー 「コロナ禍におけるメンタルヘルスケア」	神奈川工科大学 精神看護学 柴田真紀教授	18事業所
7	2月16日	介護ロボット活用セミナー	横浜市総合リハビリテーションセンター介護ロボット相談窓口 松葉氏・沼田氏	13事業所
8	3月16日	知的障害がある人と認知症について	武蔵野大学 木下大生教授	13事業所

(2) 短期入所事業

令和4年度の短期入所事業の利用者の特色として、中高齢期の在宅の方でご家族の高齢化により家庭で継続して過ごすことが難しくなった方や、ご家族のレスパイト・入院等による受入れ、当事者の身体状況の変化から在宅生活やグループホーム、他入所施設等での生活が難しくなってきた方の利用が多くありました。

ア 月別短期入所状況

(単位：人)

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	人	1	0	3	3	5	2	0	3	4	3	4	7	35
	日	5	0	10	13	21	10	0	13	32	18	14	65	201
女	人	1	2	5	1	2	1	3	3	4	5	6	4	37
	日	3	9	13	25	34	30	37	17	36	32	48	87	371
計	人	2	2	8	4	7	3	3	6	8	8	10	11	72
	日	8	9	23	38	55	40	37	30	68	50	62	152	572

イ 市町村別短期利用者状況

(単位：人)

区分	厚木市	伊勢原市	相模原市	秦野市	海老名市	小田原市	平塚市	愛川町	座間市	茅ヶ崎市	綾瀬市	大和市	逗子市	鎌倉市	計
男	5		1	2	1	1						1			11
女	7	2		1									1		11
計	12	2	1	3	1	1						1	1		22

(3) 相談支援

相談研修課のケースワーカーを中心に、相談の受付を行いました。入所相談が中心でしたが、新規で短期入所の相談もありました。市町村や指定特定相談支援事業所の窓口との連携、他施設との情報交換を十分に行っていくことが不可欠となっています。相談件数は以下に示す表の通りでした。

一人ひとりのニーズに合わせ、見学・体験入所を実施し、本人の意思を確認する関係者会議を実施した上で入所等を検討しました。

相談支援の状況

(単位：件)

区分		厚木市	相模原市	秦野市	平塚市	小田原市	茅ヶ崎市	湯河原町	横浜市	座間市	海老名市	愛川町	清川村	川崎市	南足柄
相談・見学	男	4	1	3	1	2	1			1	0	0			
	女	6	1	1	0	2	0			0	1	1			
	計	10	2	4	1	4	1			1	1	1			
区分		綾瀬市	伊勢原市	藤沢市	鎌倉市	寒川町	松田町	横須賀市	箱根町	二宮町	山北	大和	県外	不明	計
相談・見学	男		2	0	1	1		1				5		1	24
	女		3	1	0	0		0				2		1	19
	計		5	1	1	1		1				7		2	43

(4) 実習生・研修生

	内 訳	受入れ人数	受入れ述べ日数
1	保育実習	5人	33日
2	社会福祉士	1人	24日
3	社会福祉主事	0人	0日
4	その他	0人	0日

4 生活課

(1) 生活課の状況

1 課利用者状況

(単位：人) 令和5年3月31日現在

性別		女性38名（短期利用者は除く）							
年齢階層	60歳未満	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	計	
		8	4	2	8	7	1	1	31
障害支援区分	区分3		区分4		区分5		区分6		
	0		2		7		22		
身体状況	視聴覚	肢体等	吸引	胃ろう・腎臓	補装具使用者	常時車椅子	外出用車椅子	歩行器	
	2	8	0	0		15	11	5	

2 課利用者状況

(単位：人) 令和5年3月31日現在

性別		男性38名（短期利用者は除く）							
年齢階層	60歳未満	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	計	
		9	5	4	2	5	3	2	30
障害支援区分	区分3		区分4		区分5		区分6		
	0		3		7		20		
身体状況	視聴覚	肢体等	吸引	胃ろう・経鼻	補装具使用者	常時車椅子	外出用車椅子	歩行器	
	2	12	1	1		15	5	5	

3 課利用者状況

(単位：人) 令和5年3月31日現在

性別		男性34名（短期利用者は除く）							
年齢階層	60歳未満	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	計	
		10	0	4	4	6	3	1	28
障害支援区分	区分3		区分4		区分5		区分6		
			7		11		10		
身体状況	肢体等	その他	吸引	胃ろう・経鼻	補装具使用者	常時車椅子	外出用車椅子	歩行器	
	3	1	0	0		9	4	2	

生活課は3課体制で支援しています。1課が女性、2課・3課が男性で構成されています。利用者数は3月末現在、女性31名、男性58名となっています。

令和4年度も、入退院を繰り返す方や身体機能の低下（立位不安定、転倒等）が多くみられました。また、知的障害に加え認知症状や介護度が進行する方も増えました。令和4年度は男性3名、女性1名がご逝去されました。また、常時医療が必要となり、男性3名が療養型病院へ移行されました。

利用者全体の介護内容が多様化・増加している中で、人生のラストステージを迎えようとしている利用者への個別支援をどう実施していくかが引き続き大きな課題となっています。

医療的ケアについては、法制度上、施設支援の限界があり、療養型病床群等への移行支援ニーズも高まっています。

(2) 食事

毎日の食事では栄養ケアマネジメントに取組み、利用者の嗜好を尊重した「個別対応食」や、嚥下困難な方への配慮（普通食、カット食、とろみ食、口どけ食等）を生活課、看護課、栄養調理課との連携で進めてきました。また、食事支援を必要とされる方が年々増加しているため、より安全な環境で食事提供できるよう、定期的に食事席の見直しや介助方法の見直し等を行いました。

(3) 入浴

高齢化による急激な体調の変化、介護度、障害特性などを考慮し、曜日に分けてグループ分けを行い、個々に最適と考えられる浴室(一般浴室、リフター付浴室、機械浴室)での入浴を実施してきましたが、新型コロナウイルス感染症対応で令和4年度も、各課対応となりました。生活1課では午後は各寮で実施し、機械浴の代わりにシャワーストレッチャー浴を週1回実施しました。生活2課では各寮で午後に入浴を継続しつつ、状況に合わせて機械浴も実施しました。生活3課も寮毎に分かれて実施しました。利用者の重度化、高齢化に伴い、リフト浴や機械浴を求められる利用者が増加傾向にある中、各課対応では限界も生じてきていますので、課の設備に応じて障害特性を考慮した利用者配置も検討しています。利用者数、職員数、入浴回数等が適正かどうかを常に検討・改善しつつ、より「安全」で「快適」な入浴時間の提供に努めました。

(4) 余暇・外出

個別のニーズに沿って支援を進めました。美容サービス(ネイル)、介護マッサージ等の定期利用の他、喫茶プティ・デザートテラス・ファミリーマート販売会(感染症に配慮し、寮毎に分かれて実施)・出張販売会・映画会・音楽会・カラオケ・レクリエーション等、新型コロナウイルス感染症対応の動向を見ながら方法を変えて実施しました。

感染症対応、介護度の上昇、通院回数の増加等により外出の機会は減少しましたが、可能な限り個別や少人数での対応を行いました。好天の日には短時間でもドライブや園近辺の散歩等ができるよう日課を工夫しました。さらに外出できない方には、外食気分を感じていただけるように出前をとり、ゲストハウス等を利用して日常と雰囲気を変えての食事場面も提供しました。利用者が楽しんで頂ける機会を少しでも多く確保できるよう努めました。

(5) 支援スキル向上への取り組み

理学療法士の指導の下、利用者の身体機能維持に必要な運動プログラムを学び、拘縮予防や介護予防に繋げています。また支援方法や介助方法が適切に行えているかを確認し、より安全で安心感を感じていただけるよう努めました。また、安定したサービスの提供ができるように支援方法や介助方法のマニュアルを作成し、情報共有と統一した支援を行いました。

(6) 福祉機器の活用

介護度の上昇に伴い、「利用者にとっての安心安全」「職員にとっての衛生管理」を両立させるべく、利用者個々の障害特性に合わせた福祉機器を本人、後見人、ご家族と相談しながら、外部通院等を通して進めてきました。生活1課のリフター導入から8年が経過しました。車いすに座っていることが多い利用者の為、イージーウォークやリクライニングソファを導入し、浮腫み解消に取り組みつつ、新たな福祉機器の導入に向け、情報収集や機器の試行も行いました。

(5) 各課の行事

	生活1課	生活2課	生活3課
4月	・お花見	・少人数でのドライブ	少人数でのドライブ、買い物
5月	・こいのぼりイベント	・少人数でのドライブ	少人数でのドライブ、買い物 テイクアウト外出
6月	・出前	・少人数でのドライブ	少人数でのドライブ、買い物 テイクアウト外出
7月	・夏祭り ・出前・七夕イベント・飾り作り	夏祭り ・少人数でのドライブ	・夏祭り ・少人数でのドライブ、買い物 ・テイクアウト外出
8月	感染症予防ため自粛 ・出前	・少人数でのドライブ	
9月	・長寿の祝い ・出前	長寿の祝い ・少人数でのドライブ	・長寿の祝い ・少人数でのドライブ、買い物 ・テイクアウト外出
10月	・ラ・フェスタ（園内） ・ハロウィーン ・デザートイベント	ラ・フェスタ（園内） ・少人数でのドライブ ・出前	・ラ・フェスタ（園内） ・少人数でのドライブ、買い物 ・テイクアウト外出
11月	・出前	・少人数でのドライブ	少人数でのドライブ、買い物 テイクアウト外出
12月	・クリスマス会 ・おやつ作り・年賀状作り	・クリスマス会 ・少人数でのドライブ	・クリスマス会 ・少人数でのドライブ、買い物
1月	・新年会	・新年会 ・少人数でのドライブ	・初詣 ・新年会
2月	・豆まき	・少人数でのドライブ	・少人数でのドライブ、買い物
3月	・課内春の宴（1年間の様子をDVD 上映会） ・ひな祭りおやつ作り	・課内春の宴（1年間の様子を DVD上映会） ・少人数でのドライブ	・課内春の宴（1年間の様子を DVD上映、カラオケ）

※その他、短時間の外出やドライブ、面会等も数多く行いました。

5 日中支援課

令和4年度の日中支援課は定員140名で生活介護事業を行いました。利用者の契約状況として一般入所89名、共同生活援助利用者17名、在宅利用者10名となっています。(令和5年3月31日現在)

(1) サービス概要

サービス内容としては、新型コロナウイルス感染症予防対策に努め、園内においてゾーニングを行ないました。生活介護を3つの空間『寮』『作業活動室』『デイルーム』に分け、個々の利用者の個別支援計画に添いながら『安心・安全』を優先した環境を設定しました。

『寮』では、日中、寮で過ごしている利用者に対して機能維持活動や入浴等を中心とした介護・支援を行ないました。

『作業活動室』では、一般入所(寮)・共同生活援助・在宅利用者に対して生産活動・創作活動や余暇等を中心とした介護・支援を行ないました。

『デイルーム』では、在宅利用者を中心として個別活動や入浴を中心とした介護・支援を行ないました。

食事についても利用者のニーズ・摂食状況に応じた食事形態の変更や介助を行ない、より良い「日中の過ごし」が提供できるように取り組みました。

令和4年度月別利用者状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	月平均
営業日数	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23	
利用者数(延べ)	2293	2287	2295	2401	2409	2311	2424	2239	2314	2274	2033	2320	2300

(2) 年間目標

ア 「日中の過ごし」の利用者満足度を上げる取り組みについて

各課において、介護・支援等の取り組み内容の見直しを適宜実施し、利用者のニーズに応じたより良い介護・支援を目指し、取り組みました。また、理学療法士からの助言の基、機能維持に向けた活動を実施しました。

イ 地域住民・事業所等の交流について

ボランティアのコーディネート業務については、感染症予防により見合わせました。感染状況を踏まえて、ボランティアの継続参加・新規受け入れに努め、当園の機関誌を通して、地域住民・他事業所へ情報発信をしました。

ウ 課体制の改善及び職員のスキルアップについて

会議や毎日の夕礼にて業務内容の見直しや支援の振り返りを行いました。異変時対応訓練を毎月実施し、利用者の立場になっての体験やサポーターズカレッジによる動画視聴を通して、意見交換を行ない、専門技術・知識、人権・権利擁護の意識向上に努めました。

(3) 週間プログラム

◆ 生活課・寮

機能維持活動や入浴を中心に介護・支援を行なってきました。

- ・機能維持活動については、理学療法士の指導・助言に基づいて福祉機器等活用しながら、日々取り組める活動を行いました。
- ・新型コロナウイルス感染症対策として、園全体で職員配置をしたマルチリフター浴を控え、各寮において一般浴及びシャワーストレッチャー浴を実施しました。
- ・理美容については、理容・美容合わせて月4回実施しました。園内理美容室までの移動が困難な利用者に対しては、理美容師が寮まで出向いて行いました。

◆ 作業活動室（3階）

午前中は生産活動を中心に、午後は曜日毎のプログラムに合わせて介護・支援を行いました。

- ・生産活動については、「働きたい」という気持ちを大切に、利用者一人一人の希望、能力に合わせて作業の提供をし、「アルミリサイクル」を中心に行いました。
- ・利用者の居住棟に新型コロナウイルスを持ち込まないことを優先し、月間の予定を提示したうえで、活動室には1日1寮の参加としました。プログラムについては、機能維持活動として高齢化に伴う身体機能低下及び廃用症候群の予防を目的とし、理学療法士の指導・助言に基づいて職員による機能維持運動などを実施しました。

また、余暇的な活動として、カードゲームや映画鑑賞等今まで経験してきたことを活かし、取り組みました。

- ・創作活動において、毎月は行えませんでした。外部より講師を招いて作業活動室で実施し、ちぎり絵等で季節に合わせた作品を作成しました。

◆ 作業活動室（2階）

機械浴や個別での活動を中心に介護・支援を行ないました。

- ・理学療法士のアドバイスの基、機能維持やリラクゼーションを中心とした支援を実施しました。また、個別に関わりながら、作業活動室にて他利用者とのコミュニケーションを含め、余暇・創作活動等集団活動にも参加しました。

- * 売店（ファミリーマート）、喫茶おはなし等の余暇的な活動も実施しました。

◇ 地域交流関連事業

感染症予防にてコンサートや施設連絡会行事は行えませんでした。

◎送迎

厚木市在住の在宅利用者及び共同生活援助事業所入居者に対し、安全・安心できる運転を心掛けドアツードアの送迎を実施しました。

6 看護課

(1) 診療業務及び受診状況

厚木精華園診療所の役割は、利用者の健康管理と診療業務です。診療業務は継続して神奈川リハビリテーション病院の協力を得て行いました。

(2) 年間業務

年度の計画に基づき健康診断及び諸検査などを以下の内容で行いました。前年度と変わりなく実施できました。異常時には外部医療機関を受診して検査や治療、医療的フォローを実施しました。

ア 健診業務 内科（一般聴打診・血圧測定・心電図・身長・体重）
胸部レントゲン撮影（1回/年）
内科健診は誕生日健診と6ヶ月後に実施
耳鼻科、眼科、乳癌検診

イ 検査業務 血液検査（血清、生化学、薬物血中濃度）
腫瘍マーカー検査 便潜血
尿検査（尿一般、）
脳波検査（医師から指示ある人のみ）

(3) 日常業務

ア 観察

体調を十分に訴えることが難しい高齢知的障害者の健康把握のため、支援員から利用者の健康状態についての情報提供を受けながら、観察を行いました。また医療職員と支援員が同じ視点で利用者の健康状態について、共通認識をもちながら密接な連携が保てるように心がけました。

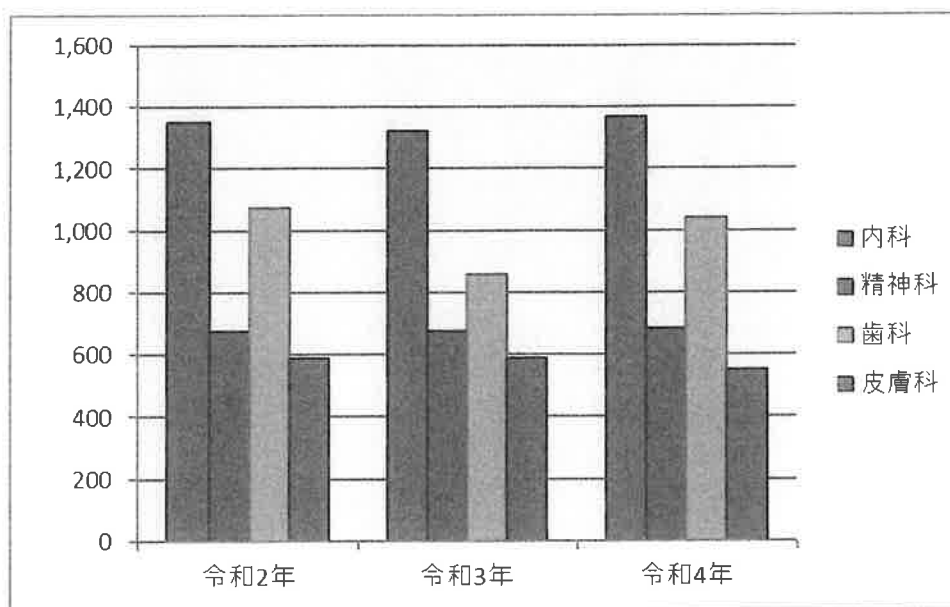
イ 園内診療状況

各科の診療は月間予定表を作成して計画的に行うことができました。今年度の総診療件数 3,774 件であり、前年度より 186 件の増加結果となっています。統計資料による各科の前年度比は次のとおりでした。

診療件数

	内科	精神科	歯科	皮膚科	眼科	総診療件数
令和2年	1,353	676	1,074	588	163	3,854
令和3年	1,320	674	859	587	148	3,588
令和4年	1,368	683	1,040	553	130	3,774

*（眼科検診も含）



(ア) 内 科

診療件数は 1,368 件、入院や他界・移行支援もありましたが 48 件の増加となりました。

(イ) 精神科

診療は週 2 日と前年度と変わりなく診療件数は 683 件でした。11 件の増加となりました。

(ウ) 歯 科

感染症や発熱などによる寮閉鎖がありましたが今年度は 1,040 件で前年度に比べ 181 件の増加となりました。定期的な口腔ケアや診療を行い口腔内の清潔を保持することは出来ました。

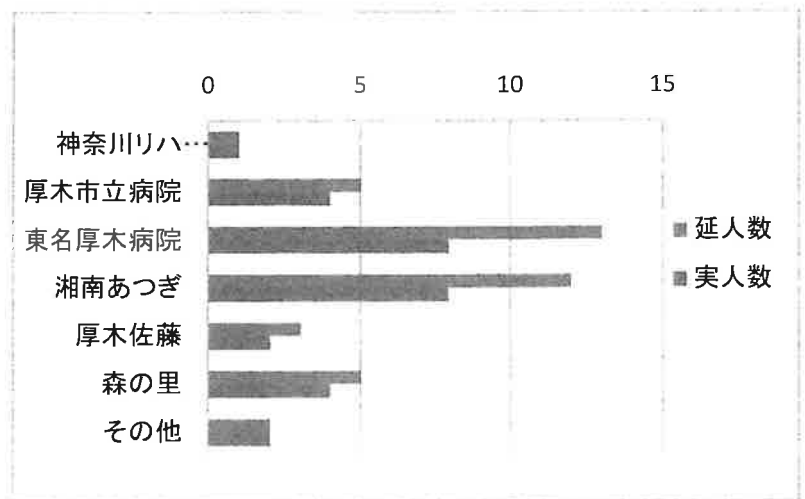
(エ) 皮膚科

今年度診療件数は 553 件で利用者個々の状態改善もあり昨年度とほぼ同じになりました。老人特有の皮膚疾患は再発しやすく園内での診療・処置にも限界あり並行して外部通院も行いました。

ウ 他医療機関の受診状況

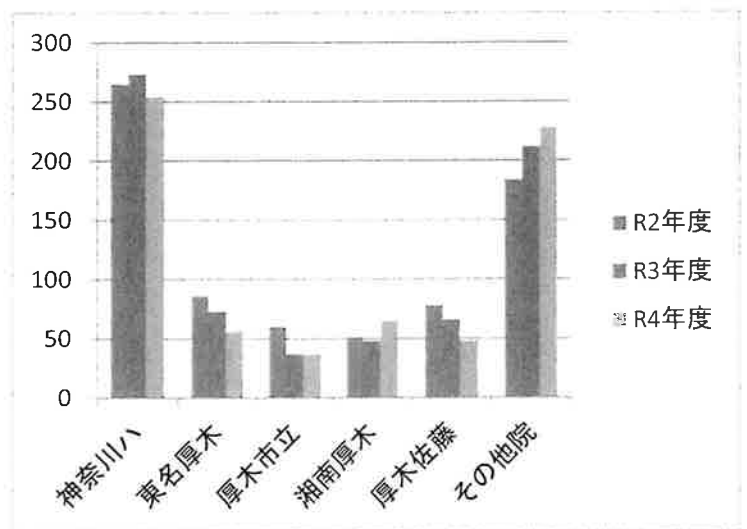
園内治療には限界があり専門医による診療が必要な疾患や、より精密検査を必要とする疾患については神奈川リハビリテーション病院や厚木市立病院、東名厚木病院、湘南厚木病院等を利用しました。発熱や外傷については近隣の病院を利用し、湘南厚木病院や東名厚木病院等への通入院は緊急での利用がほとんどでした。延べ入院数は 41 件、コロナ禍での活動減少が続き体力・抵抗力の低下等の影響もありますが昨年と比べ大きく変わりありませんでした。

入院先	延人数	実人数
神奈川リハ病院	1	1
厚木市立病院	5	4
東名厚木病院	13	8
湘南あつぎ	12	8
厚木佐藤	3	2
森の里	5	4
その他	2	2
計	41	29



厚木精華園通院状況

通院先	R年度	R3年度	R4年度
神奈川ハ	265	273	254
東名厚木	86	73	56
厚木市立	60	37	37
湘南厚木	51	48	65
厚木佐藤	78	66	48
その他院	184	212	228
計	724	709	688



令和4年度通院状況

	神奈川リハ病院	東名厚木クリニック	厚木市立病院	湘南厚木病院	厚木佐藤病院	合計
内科	43	36	6	9	34	128
精神科					13	0
神経内科						0
外科	25			12		37
泌尿器科	85	3	8	19		115
脳神経外科	5	1		2		8
整形外科	36	2		1	1	40
形成外科						0
皮膚科	54		5			59
眼科						0
耳鼻科		1	3			4
リハ科	6					6
歯科						0
婦人科	43	36	6	9	34	128
緊急外来		13	16	22		51
合計	254	56	38	65	48	448

その他医療機関

峯崎整形外科	9	あらかわクリニック	29
米澤外科内科	24	相州病院	31
愛光病院	13	森の里	12
東海大	13	仁厚会	9
北里大学	7	その他	33
とびお診療所	2		

エ 入院状況

令和4年度は延べ41件、入院日数は1014日、実人数29名でした。また平均すると1回の入院日数は、約24日で昨年と変わりありませんが高齢に伴う身体の変化は顕著で入院の原因は誤嚥性肺炎・尿路感染・腸閉塞が主でした。中には入退院を繰り返す人もあり園内での看護・支援継続の困難さに療養型の病院等に移行された方もいました。今年度はコロナウイルス感染によるクラスター発生及び入院はありませんでした。

令和4年4月～令和5年3月

NO	性別	年齢	疾患名	入院機関	入院期間	救急車	入院日数
1	男	77	全身浮腫	東名厚木	3/12) 4/1-5/2		32
2	女	76	SPO2低下、意識障害	東名厚木	3/28)-4/1-4/2		2
3	男	79	尿路感染による肺血症	厚木市立	4/7-4/18		12
4	女	87	4/13より嘔吐 4/15発熱 胆嚢炎	湘南厚木	4/14-8/1		110
5	男	73	厚木佐藤より救急、右大腸ヘルニア	伊勢協同	4/20-4/26		7
6	男	74	肺炎	湘南厚木	4/21-5/2		12
7	女	72	誤嚥性肺炎	森の里	4/23-5/19		27
8	男	73	伊勢原協同より転院	厚木佐藤	4/26-6/14		50
9	女	85	嘔吐	湘南厚木	5/1-5/30		30
10	女	71	発熱・尿路感染。	東名厚木	5/2-5/20		19
11	男	79	発熱・SPO2低下・複雑性尿路感染	厚木市立	5/8-5/23		16
12	男	74	発熱 誤嚥性肺炎	湘南厚木	5/14-6/1		19
13	男	63	嘔吐後発熱・SPO2低下、誤嚥性肺炎	厚木市立	5/21-6/9		20
14	女	69	発熱。尿路感染	湘南厚木	5/23-6/8		17
15	女	72	下血、大腸機能不全	森の里	5/30-6/4		5
16	女	71	尿管結石手術	東名厚木	6/7-6/9		3
17	男	74	誤嚥性肺炎	森の里	6/20-8/14		56
18	男	87	亜イレウス	厚木佐藤	7/23-8/23		32
19	男	50	尿路感染症	湘南厚木	9/19-10/4		16
20	女	64	尿路感染症	厚木市立	9/21-10/3		13
21	男	87	細菌性肺炎	東名厚木	9/23-10/6		14
22	男	58	肺炎（誤嚥性肺炎）	湘南厚木	10/17-12/15		60
23	男	86	膿胸	厚木市立	10/24-11/12		20
24	男	90	食事・水分摂取不良	森の里病院	11/9-1/6		59
25	男	90	老衰	近藤病院	1/6-2/28退所		34
26	男	87	誤嚥性肺炎	東名厚木	11/10-12/27	救急車	48
27	女	87	嘔吐 偽性大腸閉塞	湘南厚木	11/19-12/20		33
28	男	74	食欲不振・浮腫み	厚木佐藤	12/2-12/31		30
29	男	50	左大腿骨骨折	神奈川リハ	12/21-1/4		15

30	女	87	嘔吐 偽性大腸閉塞	湘南厚木	12/25-2/11		49
31	男	54	肺炎→膿胸	東名厚木	12/30-2/8		41
32	女	71	結石性腎盂腎炎	東名厚木	1/3-1/18		16
33	男	74	嘔吐・下痢症 十二指腸狭窄疑い	東名厚木	1/20-1/26		7
34	女	60	嘔吐・発熱→便秘	東名厚木	2/3-2/6		4
35	女	71	結石除去	東名厚木	2/14-2/17		4
36	男	45	誤嚥性肺炎	森の里	2/20-3/23		32
37	女	75	便秘・イレウス	東名厚木	2/24-3/2		7
38	女	87	嘔吐	湘南厚木	3/9-	救急車	23
39	男	75	左大腿骨骨折	湘南厚木	3/20-		12
40	男	80	SPO2低下、食思不良	湘南厚木	3/25-		7
41	男	70	嘔吐・肺炎	東名厚木	3/31-	救急車	1

*救急車の要請は入院状況も含め15件でした。

オ 死亡者

入所利用者の死亡状況は次のとおりです。

	性別	年齢	疾患	医療機関	日時
1	女	76	SPO2の低下、意識障害 死因肺炎	東名厚木	令和4年 4月2日
2	男	86	膿胸・肺血症	厚木市立	令和4年 11月12日
3	男	58	誤嚥性肺炎	湘南厚木	令和4年 12月15日
4	男	74	MDS 腸閉塞	厚木佐藤	令和4年 12月31日

カ その他

(ア) 感染症対策

インフルエンザワクチン接種及びコロナワクチン接種の実施を園内で行いました。備品としてインフルエンザウイルスキット、ノロウイルス抗体キット、コロナ抗原キットマスク（N95）、ガウン等を購入し感染症予防の対策を取り、支援員への感染症予防の啓発として専門医による研修会を開催とノロ対応訓練を行い標準化を図るよう努めました。今年度はコロナウイルス感染によるクラスター発生はありませんでしたが1名のみ陽性となりました。感染性胃腸炎が1月に発生し10名の利用者が罹患しましたが重症化はありませんでした。

(イ) 医療的ケア

高齢化に伴い入退院を繰り返す中で医療的ケアの検討がなされていますが移行支援等で対象者が減少となり、今年度は胃瘻が増設されている利用者2名となりました。新規認定取得者は3名、異動に伴う取得者1名、追加の医療的ケア研修を19名が修了しました。また年1回の園内での手技見直しを実施し安全確認を行いました。医療的ケアの対象人数は経鼻栄養：1名、胃ろう：2名、吸引：5名。医療的ケアではないが生活課では尿道カテーテルを留置している利用者が増えているため安全な管理が維持できるよう寮との情報共有を密に行いました。

7 厚木身体障害者等生活介護事業所『とまと』

厚木市より事業を引き継ぎ、厚木精華園による運営が11年経過しました。令和4年度は、新規の利用者は2名でした。コロナ禍により、日帰り外出、自立支援プログラムを実施出来ませんでした。テイクアウトランチ及びスイーツを定期的を実施し、利用者の楽しみとして定着しました。月2回の土曜日開所を継続しました。満足度調査を年1回実施し、コロナ禍による感染症対策をしたうえでの取り組みを理解していただきました。

(1) 年間事業実績

	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	総計
男性	650	605	302	153		1,710
女性	654	609	76	0		1,339
計	1,304	1,214	378	153		3,049

項目	事業実施日	延利用者数	1日平均利用者数
実績	263日	3,049人	11.6人

(2) 曜日別利用予定者数

曜日	月	火	水	木	金
利用人数	13人 (男8・女5)	12人 (男6・女6)	14人 (男9・女5)	13人 (男7・女6)	14人 (男7・女7)

(3) 利用者概要

利用契約者数…31人(男性18人・女性13人)

年齢分布…10代(0人)20代(9人)30代(3人)40代(9人)
50代(7人)60代(3人)

障害支援区分…区分3(2人)・区分4(6人)・区分5(11人)・区分6(12人)

障害原因…脳内出血、脳梗塞(4人)脳性マヒ(15人)・
糖尿病(1人)指定難病等(5人)

車椅子使用者…27人 白杖使用者…1人 歩行器…1人







(4) 活動実績

ア 防災訓練…月1回、年間12回実施

4月	5月	6月	7月	8月	9月
緊急時訓練 月曜利用者	緊急時訓練 水曜利用者	緊急時訓練 火曜利用者	緊急時訓練 金曜利用者	緊急時訓練 月曜利用者	緊急時訓練 火曜利用者
10月	11月	12月	1月	2月	3月
緊急時訓練 水曜利用者	緊急時訓練 木曜利用者	緊急時訓練 金曜利用者	緊急時訓練 月曜利用者	緊急時訓練 火曜利用者	緊急時訓練 水曜利用者

8 地域生活支援課 (グループホーム)

令和5年3月31日現在

	①	②	③	④	⑤	⑥
写真						
ホーム名	グループホーム ゆめホーム	グループホーム そらホーム	グループホーム めいホーム	グループホーム ハイツすみれ	グループホーム いずみホーム	グループホーム ひのきホーム
タイプ	2階1戸建	2階1戸建	平屋1戸建	平屋1戸建	平屋1戸建	平屋1戸建
開設年月	平成9年4月 平成17年3月 に移転	平成15年10月	平成20年10月	平成21年5月	平成22年5月	平成24年5月
所在地	厚木市 鹿尾地区4丁目	厚木市 鹿尾地区4丁目	厚木市 鹿尾地区2丁目	厚木市 鹿尾地区4丁目	厚木市 鹿尾地区1丁目	厚木市 上荻野地区
定員	5名	6名	5名	4名	5名	5名
入居者数	男性：4名	6名	女性：5名	女性：4名	女性：5名	男性：5名
家賃	35,000円	33,000円	36,000円	37,000円	38,000円	32,000円
食費	18,909円	18,058円	15,717円	17,419円	17,602円	17,206円
光熱水費	16,956円	17,274円	10,756円	14,012円	12,720円	12,365円
日常生活品費	1,200円	1,200円	1,200円	1,200円	1,200円	1,200円
支援地	厚木市 3名 小田原市 1名	横浜市 1名 藤沢市 1名 厚木市 1名 座間市 1名 伊勢原市 1名 愛川町 1名	茶野市 2名 茅ヶ崎市 1名 厚木市 2名	座間市 1名 厚木市 1名 茶野市 1名 寒川町 1名	座間市 1名 相模原市 1名 小田原市 1名 横浜市 1名 川崎市 1名	厚木市 3名 海老名市 1名 藤沢市 1名
日中活動	福祉サービス4名	福祉サービス6名	福祉サービス5名	福祉サービス4名	福祉サービス5名	福祉サービス5名
療育手帳	A 2-3名 B 1-1名	A 2-4名 B 1-2名	A 1-1名 A 2-2名 B 1-1名 B 2-1名	A 1-2名 A 2-1名 B 1-1名	A 2-1名 B 1-1名	A 2-3名 B 1-2名
障害支援区分	区分2-1名 区分3-1名 区分4-1名 区分5-1名	区分3-2名 区分4-2名 区分5-2名	区分4-2名 区分5-2名 区分6-1名	区分4-1名 区分5-3名	区分4-2名 区分5-2名 区分6-1名	区分3-1名 区分4-1名
介護保険利用	介護保険併用1名	介護保険併用1名	介護保険併用3名	介護保険併用3名	介護保険併用3名	介護保険併用1名
支援体制(時間)	【平日】 15:00~19:15 【休日】 10:45~19:15	【平日】 6:00~9:00 【平日】 15:00~19:15 【休日】 10:45~19:15	【平日】 15:00~19:15 【休日】 8:00~19:15	【平日】 15:00~19:15 【休日】 8:00~19:15	【平日】 15:00~19:15 【休日】 10:45~19:15	【平日】 15:00~19:15 【休日】 8:00~19:15
夜間支援	夜勤	巡回	夜勤	夜勤	夜勤	夜勤
防災防犯設備	自動火災報知機 まもるっく	自動火災報知機 スプリンクラー まもるっく	自動火災報知機 スプリンクラー まもるっく	自動火災報知機 スプリンクラー まもるっく	自動火災報知機 スプリンクラー まもるっく	自動火災報知機 スプリンクラー まもるっく

*利用者の高齢化および支援度の重度化、そして、建物の老朽化を見据えて日中支援型GHの検討を行っています。
 *令和4年度末の利用者の状況は、平均年齢67才(男性61才・女性73才)、平均支援区分4です。
 *「めい」「すみれ」「ひのき」はバリアフリー設計であり、3名の方が車いすを利用しています。
 *利用者の日中活動の場としては厚木精華園の生活介護事業(17名)、厚木精華園身体障害者等生活介護事業所(2名)、法人外の福祉サービス(17名)、また、6名の方が介護保険のデイサービスを利用しています。
 *介護保険のサービスを併用している方は、12名であり、入浴支援、特養ショートステイ、介護用品貸与、デイサービス等を利用しています。
 *成年後見制度の利用も推進しており、15名に成年後見人が選任されています。

9 相談支援事業所『ここから』

(1) 概要

本事業所は指定特定相談支援事業所・指定障害児相談支援事業所として指定を受け、これまで地域での高齢知的障害者支援を積み上げてきた厚木精華園の強みを活かし、他職種、とりわけ介護保険事業者（居宅事業所のケアマネージャー、地域包括支援センター等）との連携を強化し、地域包括ケア社会実現に向けた一翼を担っています。また厚木市より委託を受け荻野地区の厚木市障がい者相談支援センターとしての役割も担っています

相談の内容に関しては、よりきめ細かい対応と他支援機関との連携を心掛けながら進めており、基幹相談支援センター、包括支援センター、市社協、市障がい福祉課、生活福祉課、サービス提供事業所、医療機関の相談室などとの連携はより一層深まっており、荻野地域包括支援センターとの連携では、高齢相談者と障がいが疑われるご家族へのアプローチをワンストップで行う取組みが充実してきたことで、「地域包括ケア社会の実現」に向けて、一定の実績に繋がっていると言えます。

また、ひきこもり、自傷他害、経済的問題、医療的ケア、家族間関係性調整など、複雑な課題解決を求められるケースも多く、対応には、かなりの知識、労力、時間を要します。相談員のスキル向上や関係機関との連携が重要となっています。

(2) 具体的な内容

①相談件数 4,172件 (障がい者4,099件、障がい児73件)

*相談方法

訪問・来所・電話・同行等

*障がい別

知的1,694件 精神1,762件 身体838件 重心273件

発達484件 高次脳107件 その他459件

②計画相談 契約数147名 計画作成117件 モニタリング 305件

③障害支援区分認定調査 50件実施

Ⅲ 家族会活動報告

年間7回、定期的に開催予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で9月・1月・3月は中止となりました。また行事への参加は、7月体育館での盂蘭盆会法要とし、10月ラ・フェスタは1利用者1家族と人数は限定したものの、久しぶりにのみの実施となりました。

6・8・12・2月に関しては送迎付きの面会日を設定し、感染対策に十分配慮し実施しました。

家族会実施状況

日程		内容	その他
令和4年 4月 16日 (土)	PM	役員会・全体会及び課別懇談会	
5月 21日 (土)	PM	役員会・家族会総会	
6月 25日 (土)	AM	家族会は設定せず、面会日を設定	
7月 9日 (土)	PM	体育館にて盂蘭盆法要 役員会・全体会及び課別懇談会	
8月		家族会は設定せず、面会日を設定したが新型コロナウイルス感染対策として中止	
9月 10日 (土)	PM	新型コロナウイルス感染対策として中止	
10月 8日 (土)	PM	ラ・フェスタにて1利用者1家族の参加とし交流を図った。	
11月 19日 (土)	PM	役員会・全体会及び課別懇談会	
12月 10日 (土)	AM	家族会は設定せず、面会日を設定	
5年 1月 21日 (土)	PM	新型コロナウイルス感染対策として中止	
2月 11日 (土)	AM	家族会は設定せず、面会日を設定	3課のみ中止
3月 11日 (土)	PM	新型コロナウイルス感染対策として中止	

IV 後援会活動報告

令和4年度 事業実施報告について

1 年間事業報告

年月日	内容
令和4年 4月 22日	後援会監事監査
令和4年 4月 22日	後援会役員会 議題 1 令和3年度事業実施報告及び決算報告について 2 監査報告 2 令和4年度事業計画及び当初予算について 3 令和4年度役員変更について
令和4年 7月 5日	夏まつり2022 食以外の後援会行事(ちんどんやさん招待)
令和4年 9月 8日	長寿の祝い(各課開催)
令和4年 9月 16日	第1回デザートテラス(中止)
令和4年 10月 8日	ラ・フェスタ2022(縮小開催)
令和5年 1月 17日	第2回デザートテラス
令和5年 3月 10日	後援会役員会(中止)

喫茶プティ開催(4回)

2 補助事業

(1) 行事等各種事業への補助

- ① 行事補助(夏まつり、長寿の祝)
- ② ラ・フェスタ2022への補助
- ③ 喫茶プティへの補助
- ④ ボランティア交通費への補助(実施なし)
- ⑤ かながわ共同会人権フォーラムへの協賛(中止のため実施せず)

(2) 施設設備への補助

- ① 温冷配膳車リース
- ② くつろぎスペース用テーブル・椅子購入

3 後援会の発展及び事業の推進

- ① 会員への各種案内の発送
- ② 窓口にて後援会の入会及び事業内容の案内
- ③ 機関紙ベルデカーレにて入会の案内とご加入者報告

*厚木精華園は、地方自治法による指定管理者施設として神奈川県からの指導を受けています。

所管 神奈川県障害サービス課
電話 045-210-1111(代表)

令和4年度
社会福祉法人かながわ共同会
厚木精華園 事業概要

令和5年7月発行

発行者 社会福祉法人かながわ共同会 厚木精華園

園長 長谷川 正己

〒243-0201 厚木市上荻野4835-1

電話 046-291-0780

FAX 046-291-0949

atsugi@kyoudoukai.jp

<http://www.kyoudoukai.jp/atsugi/>

津久井やまゆり園事件
この悲しみを力に、
ともに生きる社会を実現します

平成24年7月25日、障害者支援施設である
国立「津久井やまゆり園」において、大規模な暴行事件が発生しました。
このような事件が二度と繰り返されるまいよう、
私たちはこの悲しみを力に、断固とした決意をもって、
ともに生きる社会の実現をめざし、
ここに「ともに生きる社会ふたがお憲章」を定めます。



翔子

ともに生きる社会
かながわ憲章

- 私たちは、あなたがいちばん大切だと思って、
すべての人のいのちを大切にします
- 私たちは、誰もがその人らしく
暮らすことのできる地域社会を実現します
- 私たちは、障がい者の社会への参加を妨げる
あらゆる壁、いかなる偏見や差別も排除します
- 私たちは、この憲章の実現に向けて、
果敢とたくましく取り組みます

2012年10月15日 第1版

題字「ともに生きる」
デザイン：女性作家 金澤翔子
本冊の発行所：全国障害者福祉向上推進の推進センター
〒243-0201 神奈川県厚木市上荻野 4835-1
社会福祉法人 かながわ共同会
印刷：印刷局 印刷部
お問い合わせ：神奈川県障害者福祉推進センター 電話 045-210-4961 FAX 045-210-8854



社会福祉法人 かながわ共同会

厚木精華園 〒243-0201 神奈川県厚木市上荻野 4835-1

電話：046-291-0780 FAX：046-291-0949